

Flex 5150 セットアップ手順書

参考手順 : バックアップポリシーの作成
AdvancedDiskの作成
IPMI の設定

ベリタステクノロジーズ合同会社



はじめに

本ドキュメントは、Veritasが提供している各種ガイドに沿って、実機をもとに動作確認をした内容ですが、製品の仕様や手順は予告なく変更される可能性があります。

本ドキュメントのアップデートは出来る限り早く行いますが、あくまで正規のガイドを補足する位置づけであることをご理解ください。

本ドキュメントの多くの内容は「Veritas Flex Appliance Getting Started and Administration Guide」に基づいております。

『Veritas Flex Appliance Getting Started and Administration Guide』

https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/doc/130821112-136840843-1

その他のガイドは以下のVeritasサポートサイトよりご確認ください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP



ドキュメントの内容

1 Appendix. ポリシーの作成 (Java Console)

2 Appendix. ポリシーの作成 (WebUI)

3 Appendix. AdvancedDiskの作成

4 Appendix. IPMIの設定

ドキュメントの内容

1	Appendix. ポリシーの作成 (Java Console)
2	Appendix. ポリシーの作成 (WebUI)
3	Appendix. AdvancedDiskの作成
4	Appendix. IPMIの設定

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

任意のNetBackupホストのNetBackupを管理できます。
ログインするには指定されたNetBackupホストのユーザー名と
パスワードを入力してください。

ホスト名(N):
nbu-master.nbu.local

ユーザー名(U):
appadmin

Windows ホストの場合は、ユーザー名とともにドメイン名を指定しま
す。たとえば、ドメイン名\ユーザー名のようになります。

パスワード(P):

Active Directory のログインクレデンシャルを使用する

ログイン(L) キャンセル(C) ヘルプ(H)

Veritas NetBackup™ の新機能

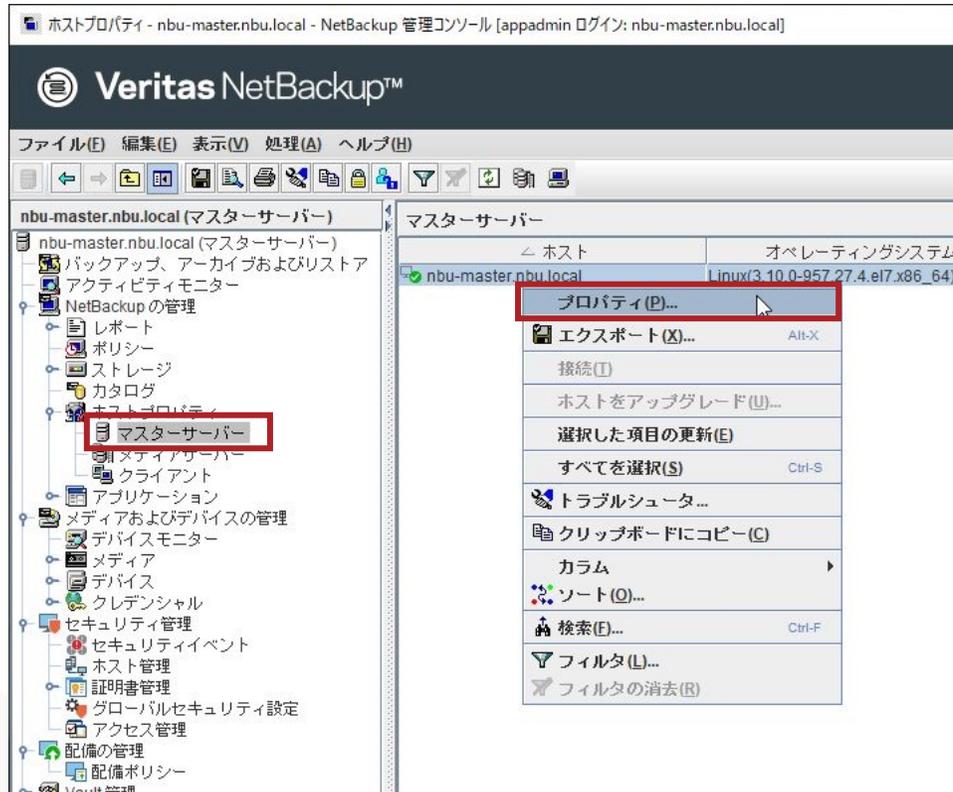
Copyright © 2019 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.
This Veritas product may contain open source and other third party
materials that are subject to a separate license. Please see the
applicable Third Party Notice at
<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements.jsp>

- NetBackup管理コンソールを起動し、マスターサーバインスタンスにログインします。
- 以下の情報でログインします。
 - [ホスト名] : <master_instansのホスト名>
 - [ユーザー名] : appadmin
 - [パスワード] : 新たに設定したパスワード
- [ログイン]をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

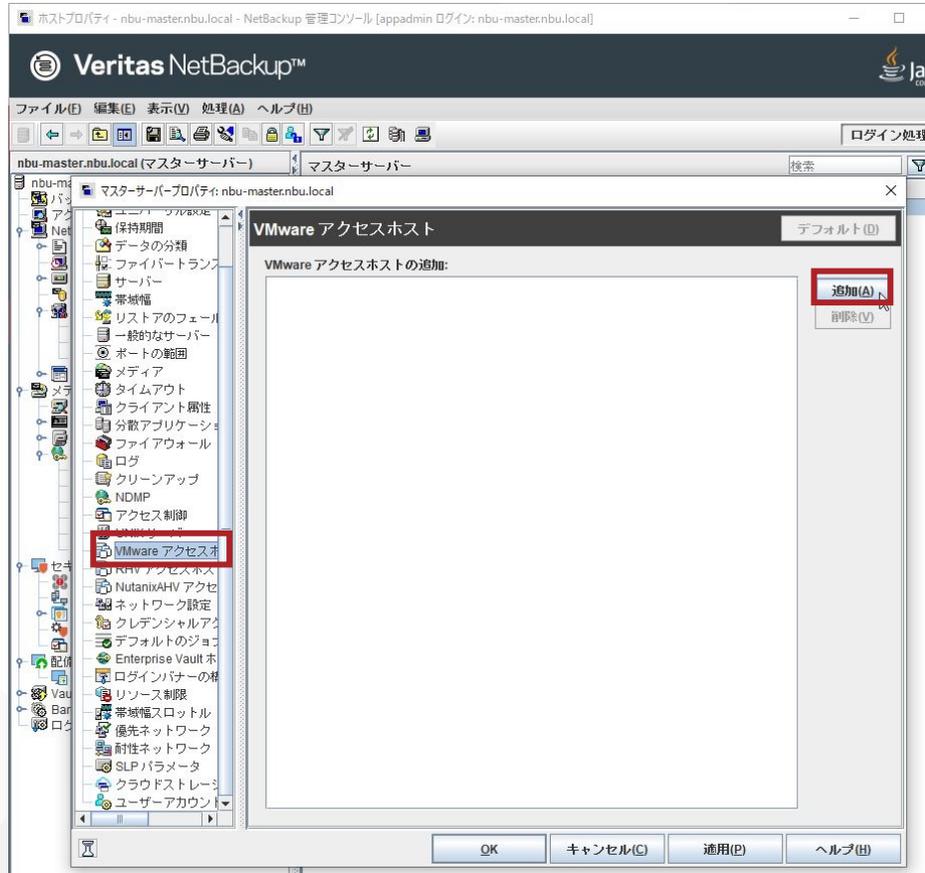


- [NetBackupの管理] > [ホストプロパティ] > [マスターサーバー]からマスタサーバーを選択します。
- 右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

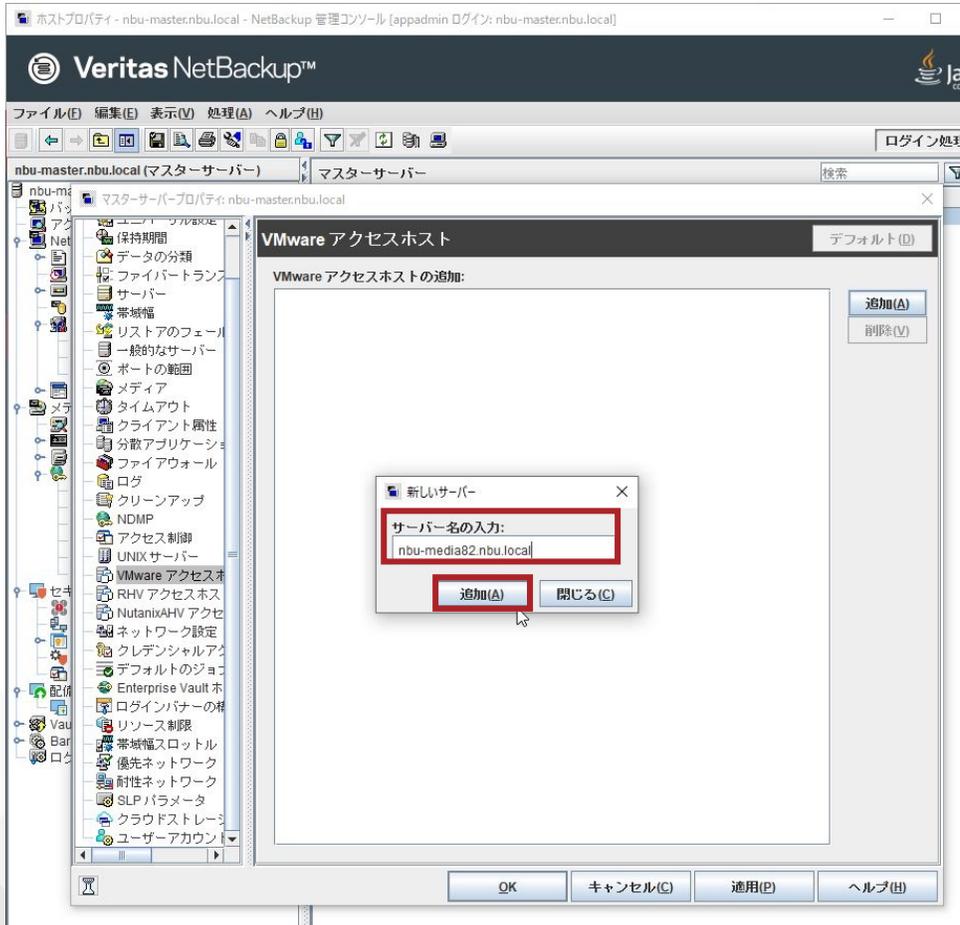


- [VMwareアクセスホスト]を選択します。
- [追加] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

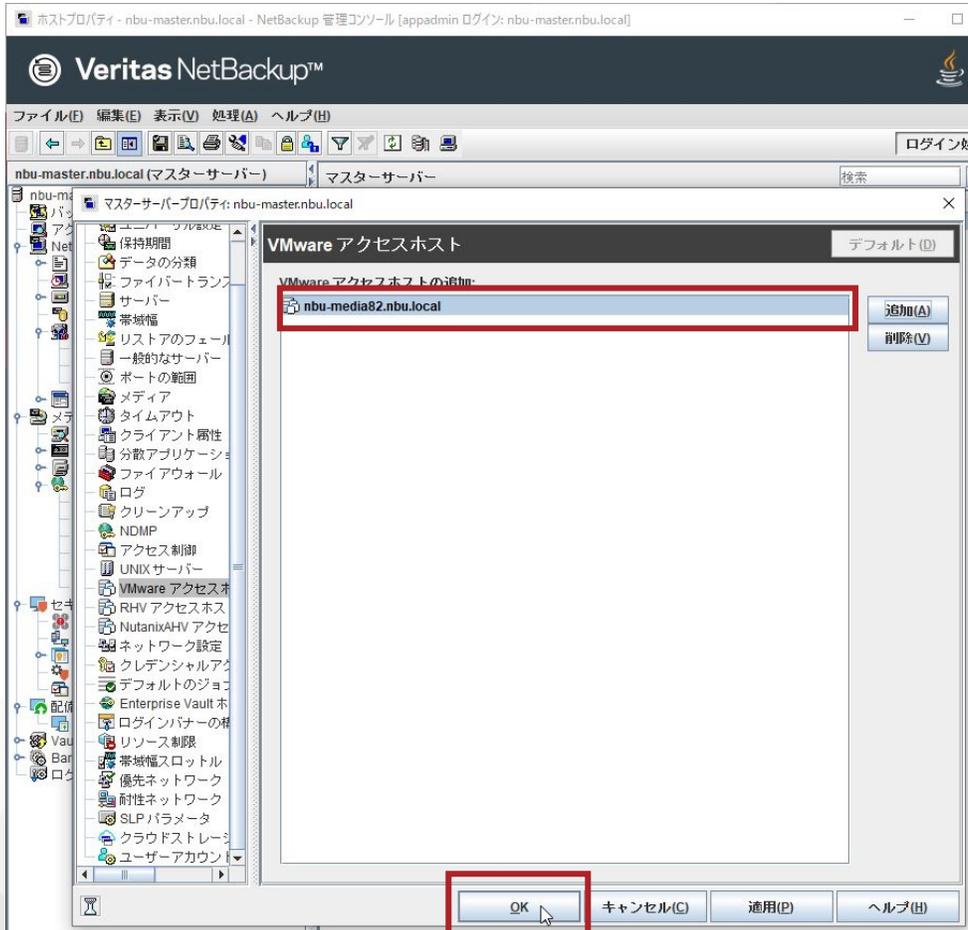


- [サーバー名の入力:]にアクセスホストとして利用するメディアサーバを入力します。
 - アクセスホストとはVADPを実行する際のバックアップホスト、リストアホストと同義です。
- [追加] をクリックします。
- [閉じる] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

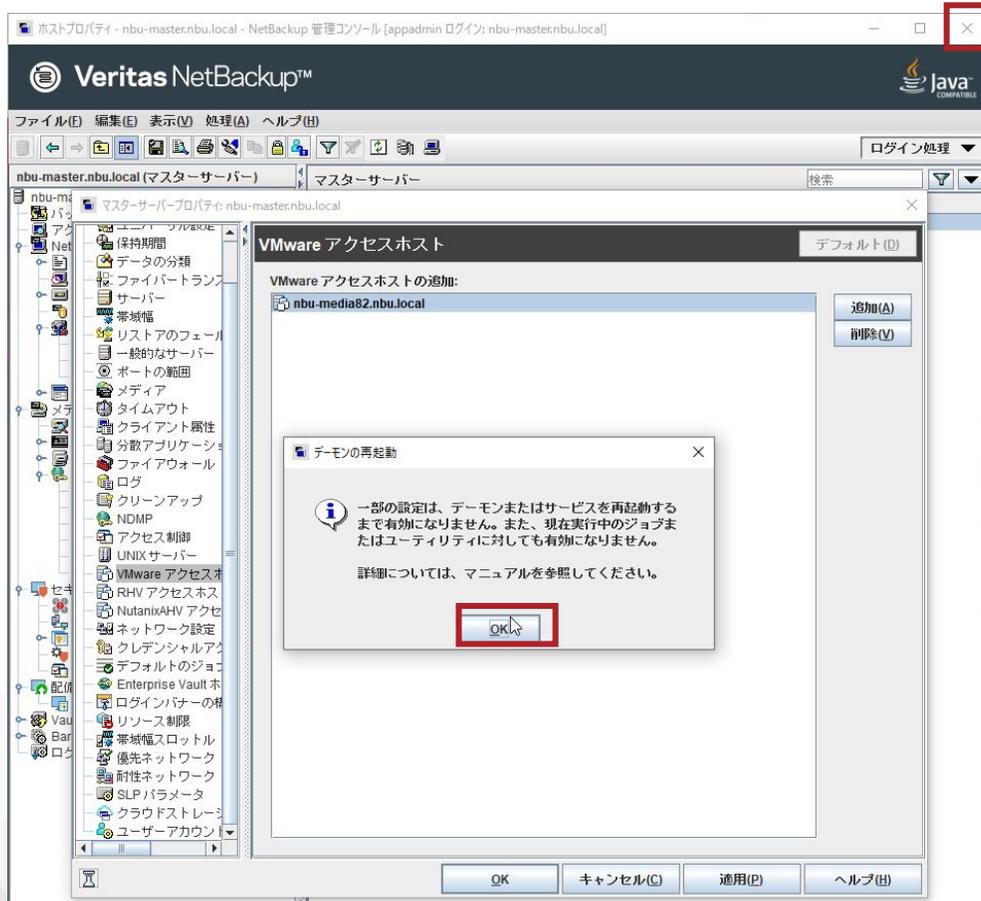


- 追加されたことを確認します。
- [OK] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



- サービスの再起動が促されます。
- [OK] をクリックします。
- Javaコンソールを終了します。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

```
nbu-master.nbu.local - appadmin@nbu-master:/usr/openv/netbackup/bin/good VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
[appadmin@nbu-master ~]$ cd /usr/openv/netbackup/bin/goodies/
[appadmin@nbu-master goodies]$ ./netbackup stop
stopping the NetBackup Service Monitor
stopping the NetBackup Vault daemon
stopping the NetBackup Agent Request Server
stopping the NetBackup Indexing Manager
stopping the NetBackup Service Layer
stopping the NetBackup Remote Monitoring Management System
stopping the NetBackup Storage Lifecycle Manager
stopping the NetBackup Policy Execution Manager
stopping the NetBackup Job Manager
stopping the NetBackup request daemon
stopping the NetBackup compatibility daemon
stopping the NetBackup database daemon
stopping the Media Manager volume daemon
stopping the NetBackup Resource Broker
stopping the NetBackup Enterprise Media Manager
stopping the NetBackup Event Manager
stopping the NetBackup Discovery Framework
stopping the NetBackup Web Management Console
stopping the NetBackup Audit Manager
stopping the NetBackup Authentication daemon
./netbackup: line 128: /usr/openv/tmp/nb_term_nbaudit.4722: Permission denied
awk: fatal: cannot open file `/usr/openv/tmp/nb_term_nbaudit.4722' for reading (No such file or directory)
stopping the NetBackup Database Server
rm: cannot remove '/var/lock/subsys/netbackup': Permission denied
[appadmin@nbu-master goodies]$ ./netbackup start
```

- SSHでマスタサーバーにアクセスします。
- 以下のコマンドを実行してサービスを停止します。
 - `cd /usr/openv/netbackup/bin/goodies`
 - `./netbackup stop`

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

```
nbu-master.nbu.local - appadmin@nbu-master:/usr/opencv/netbackup/bin/good VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
[appadmin@nbu-master ~]$ cd /usr/opencv/netbackup/bin/goodies/
[appadmin@nbu-master goodies]$ ./netbackup stop
stopping the NetBackup Service Monitor
stopping the NetBackup Vault daemon
stopping the NetBackup Agent Request Server
stopping the NetBackup Indexing Manager
stopping the NetBackup Service Layer
stopping the NetBackup Remote Monitoring Management System
stopping the NetBackup Storage Lifecycle Manager
stopping the NetBackup Policy Execution Manager
stopping the NetBackup Job Manager
stopping the NetBackup request daemon
stopping the NetBackup compatibility daemon
stopping the NetBackup database daemon
stopping the Media Manager volume daemon
stopping the NetBackup Resource Broker
stopping the NetBackup Enterprise Media Manager
stopping the NetBackup Event Manager
stopping the NetBackup Discovery Framework
stopping the NetBackup Web Management Console
stopping the NetBackup Audit Manager
stopping the NetBackup Authentication daemon
./netbackup: line 128: /usr/opencv/tmp/nb_term_nbaudit.4722: Permission denied
awk: fatal: cannot open file `/usr/opencv/tmp/nb_term_nbaudit.4722' for reading (No such file or directory)
stopping the NetBackup Database Server
rm: cannot remove `/var/lock/subsys/netbackup': Permission denied
[appadmin@nbu-master goodies]$ ./netbackup start
```

- サービスが停止したことを確認します。
- 以下のコマンドを実行してサービスを起動します。
 - ./netbackup start
- サービスが起動したことを確認します。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

任意のNetBackupホストのNetBackupを管理できます。
ログインするには指定されたNetBackupホストのユーザー名と
パスワードを入力してください。

ホスト名(N):
nbu-master.nbu.local

ユーザー名(U):
appadmin

Windows ホストの場合は、ユーザー名とともにドメイン名を指定しま
す。たとえば、ドメイン名\ユーザー名のようになります。

パスワード(P):
***** I

Active Directory のログインクレデンシャルを使用する

ログイン(L) キャンセル(C) ヘルプ(H)

Veritas NetBackup™ の新機能

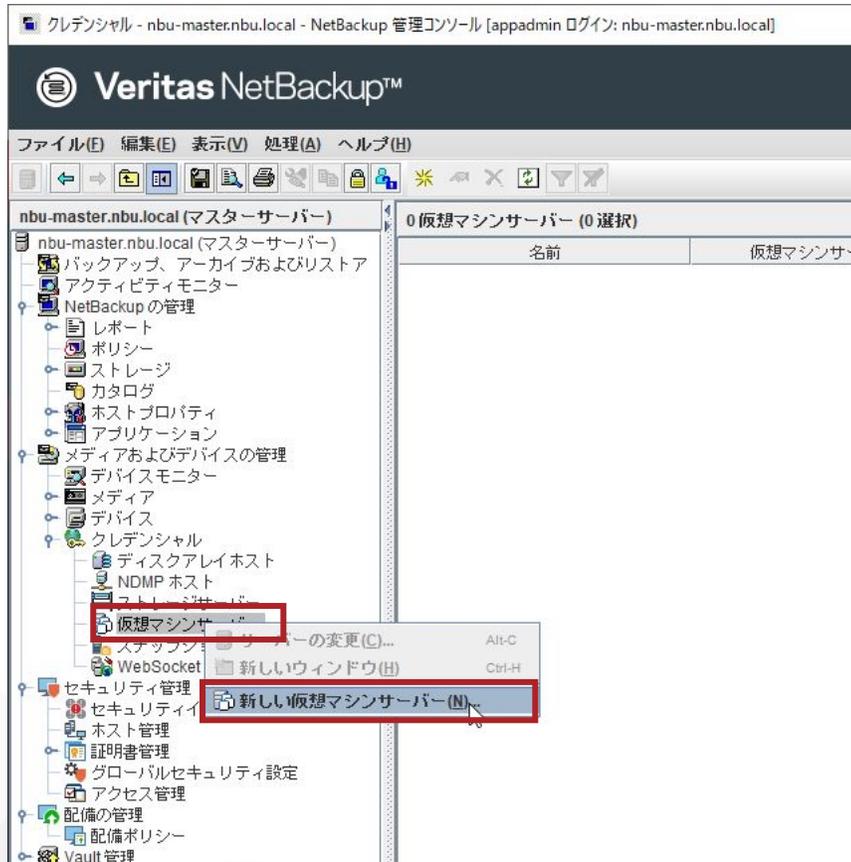
Copyright © 2019 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.
This Veritas product may contain open source and other third party
materials that are subject to a separate license. Please see the
applicable Third Party Notice at
<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements.jsp>

- NetBackup管理コンソールを起動し、マスターサーバインスタンスにログインします。
- 以下の情報でログインします。
 - [ホスト名] : <master_instansのホスト名>
 - [ユーザー名] : appadmin
 - [パスワード] : 新たに設定したパスワード
- [ログイン]をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

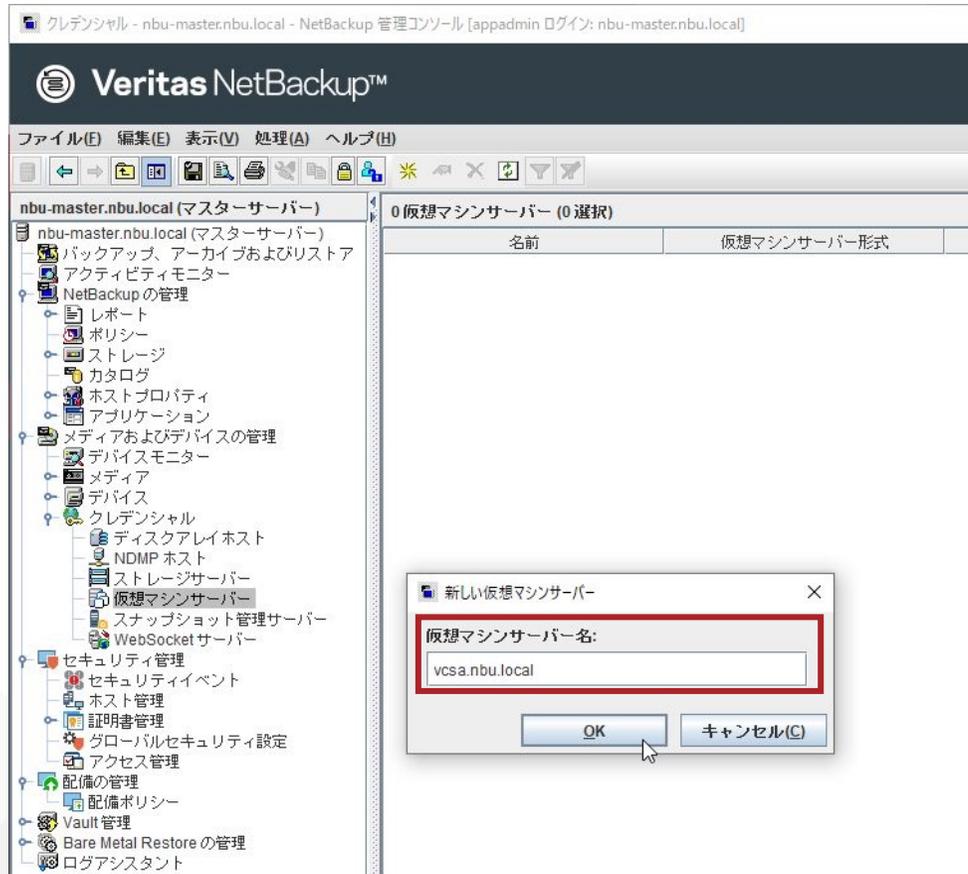


- [メディアおよびデバイスの管理] > [クレデンシャル] > [仮想マシンサーバー]を右クリックします。
- [新しい仮想マシンサーバー]をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

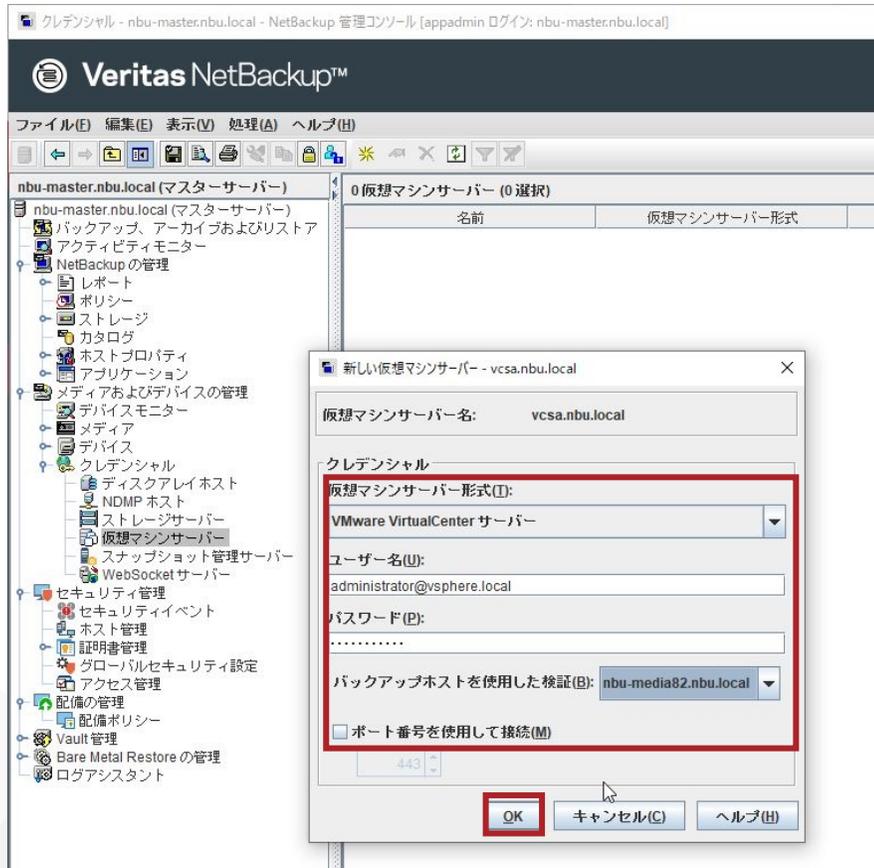


- 仮想マシンサーバー名を入力します。
 - ここではvCenterのFQDNを登録しています。
- [OK] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

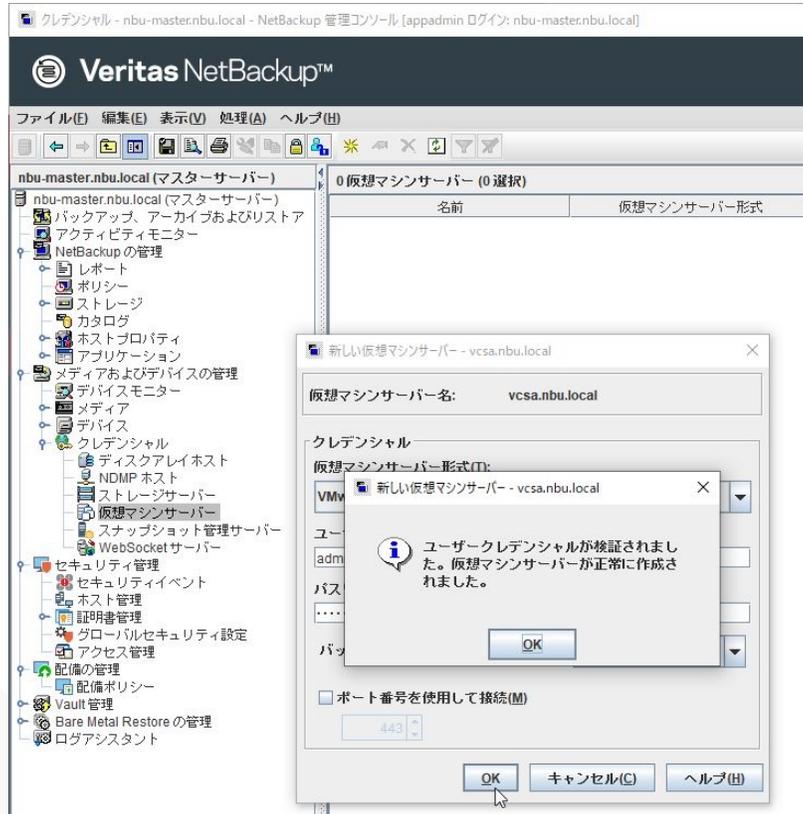


- 以下を選択または入力します。
 - 仮想マシンサーバー形式 :
 - ユーザー名 :
 - パスワード :
 - バックアップホストを使用した検証 :
- [OK] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

Java GUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

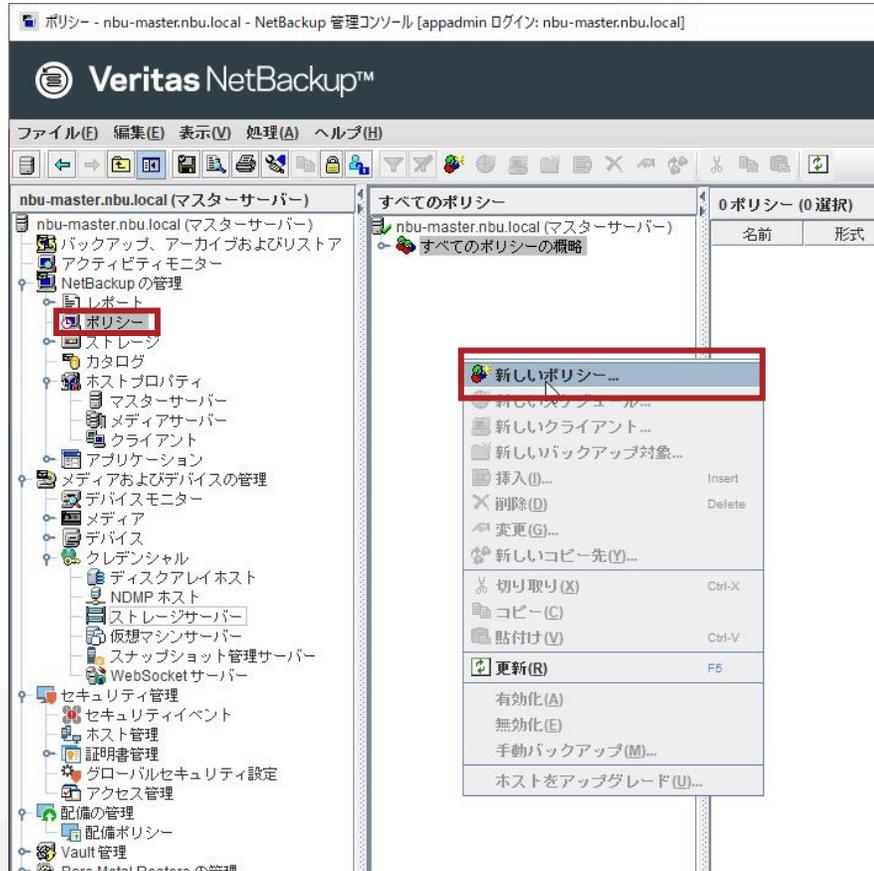


- 正常に作成されたことを確認します。
- [OK] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

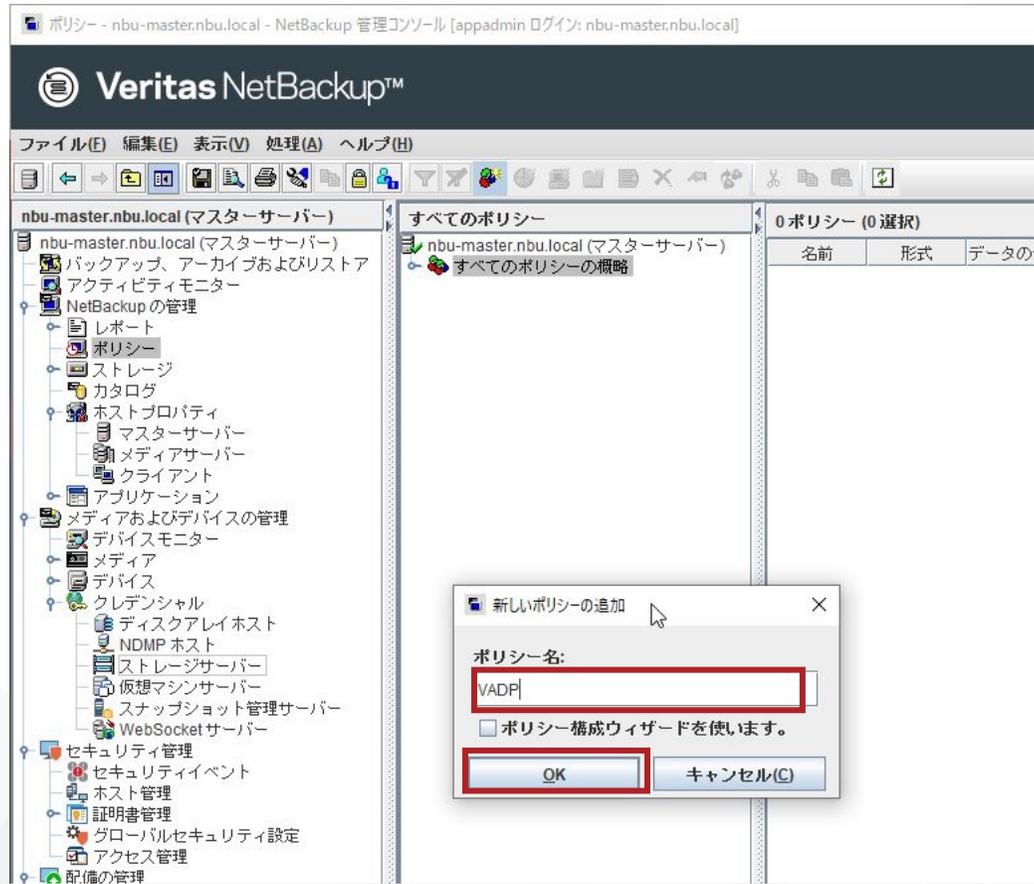


- [NetBackupの管理] > [ポリシー] を選択します。
- 余白で右クリックし、[新しいポリシー] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

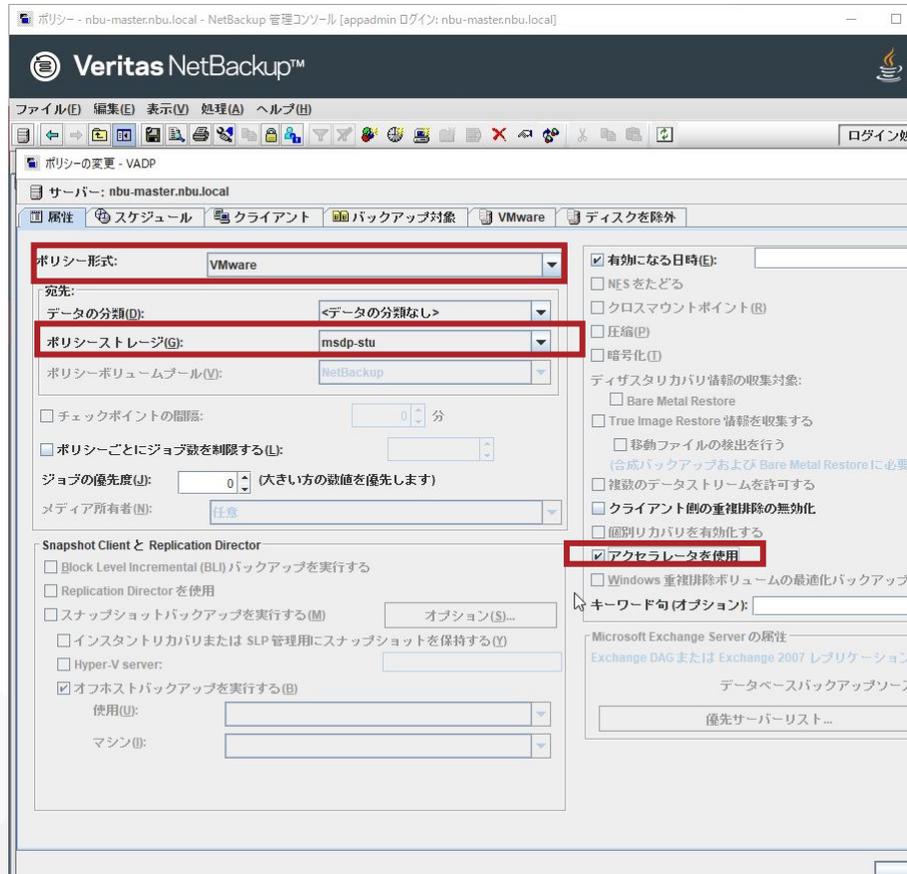


- 任意のポリシー名を入力します。
- [OK] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

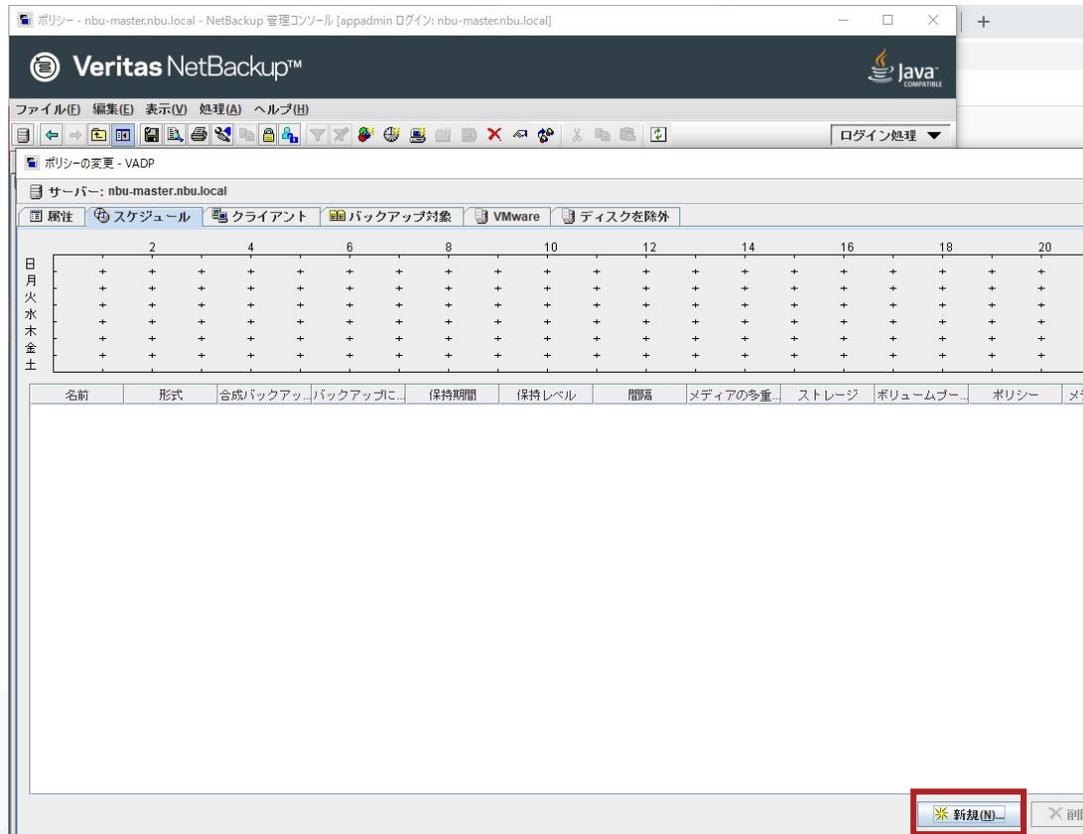


- 主に以下の項目を選択します。
 - ポリシー形式：バックアップの形式を指定します。
(今回はVMwareに設定します。)
 - ポリシーストレージ：バックアップの保存先（ストレージユニット）を指定します。
(今回は重複排除プールを選択します。)
 - オプションの選択：必要なオプションを選択します。
(今回はアクセラレータ機能を選択します。)
- [スケジュール] タブを選択します。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

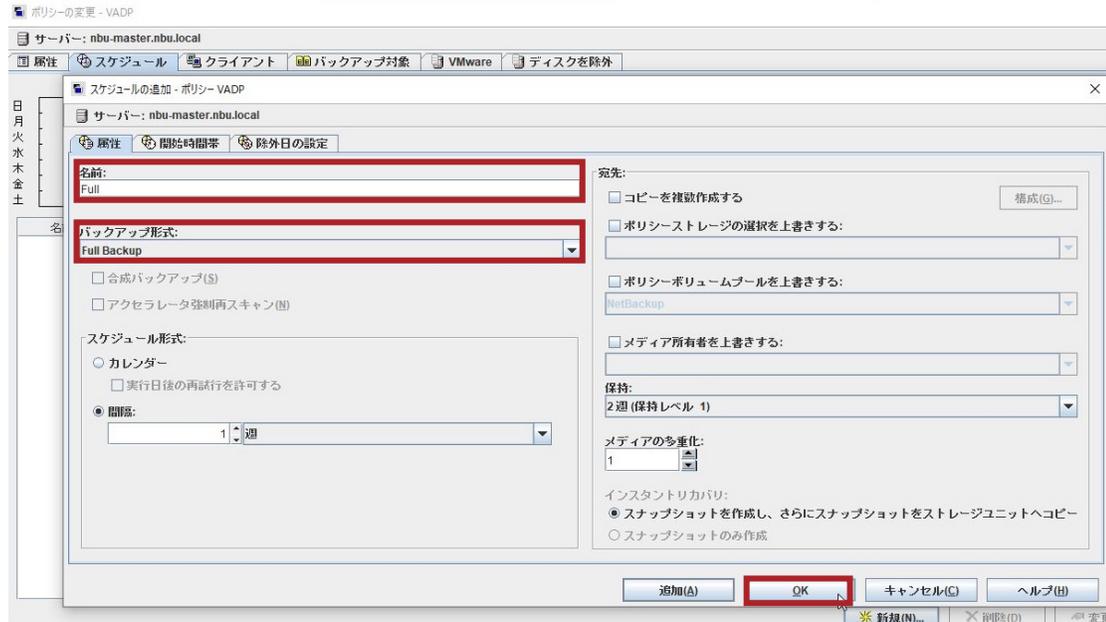


- [新規] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

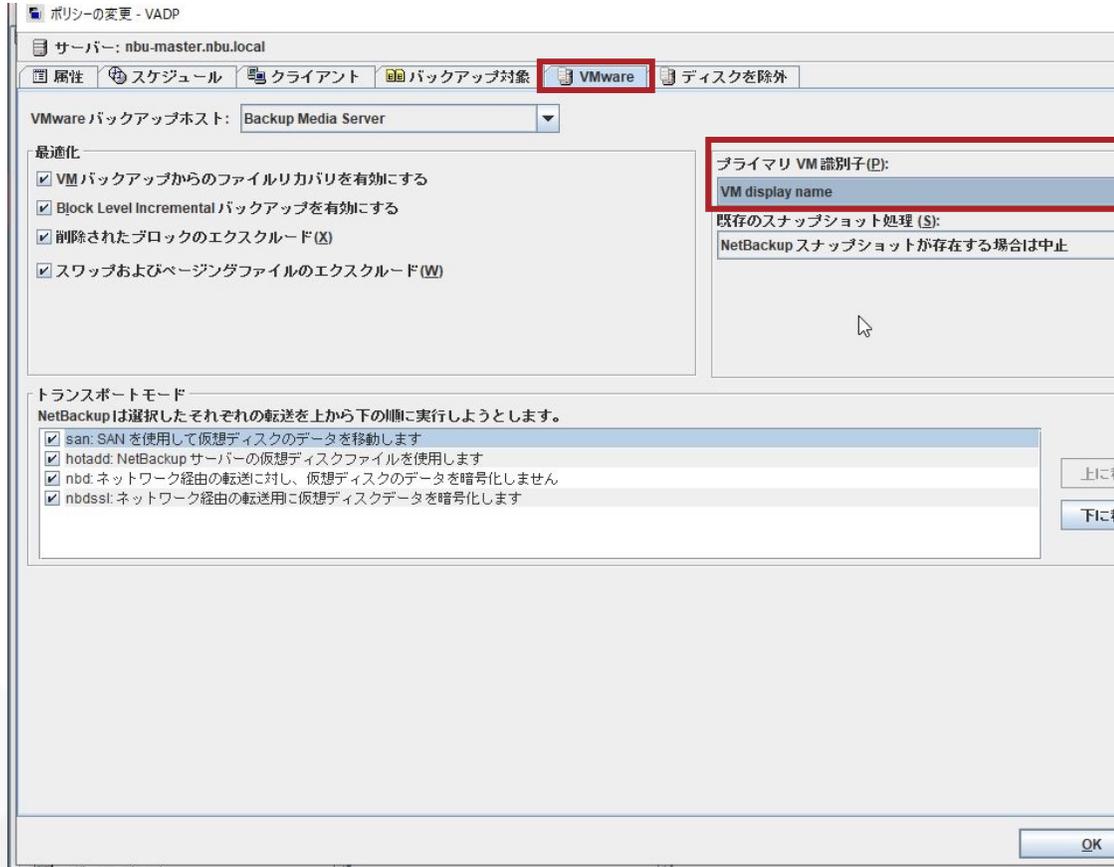


- スケジュールを作成します。
 - 名前:
 - バックアップ形式:
(今回はフルバックアップのスケジュールを作成します。)
- [OK]をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

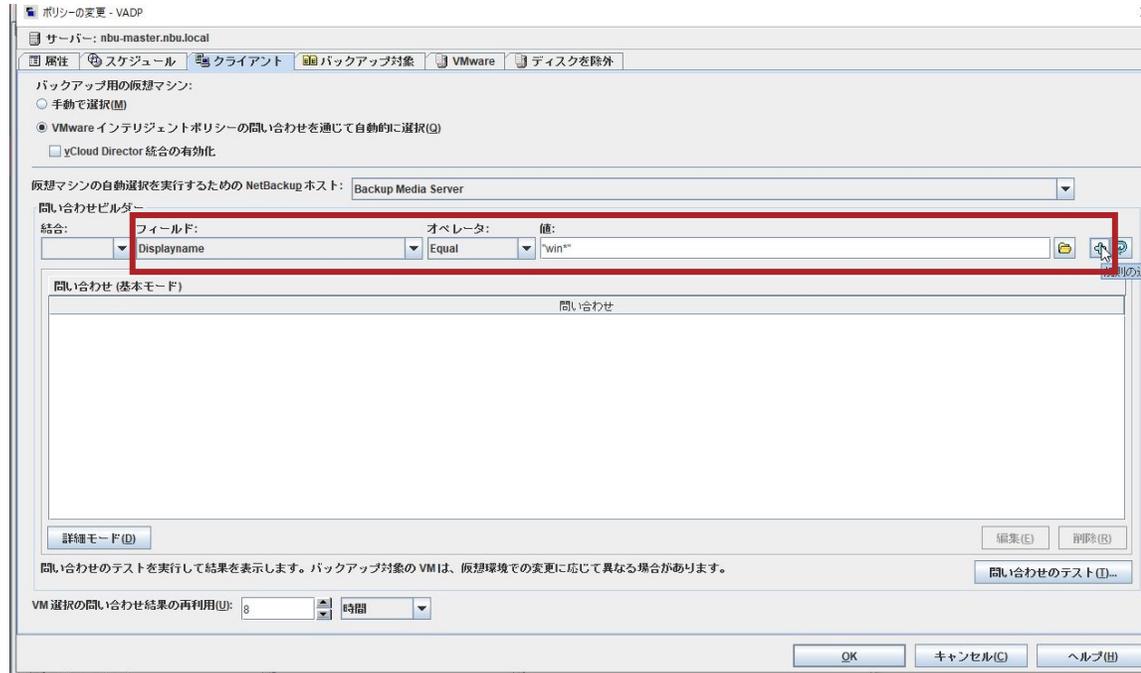


- 先に[VMware] のタブを選択します。
- [プライマリVM識別子] を [VM display name]に変更します。
- その他必要な項目の編集を行います。
(今回はデフォルトのまま進めます。)
- [クライアント] タブをクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

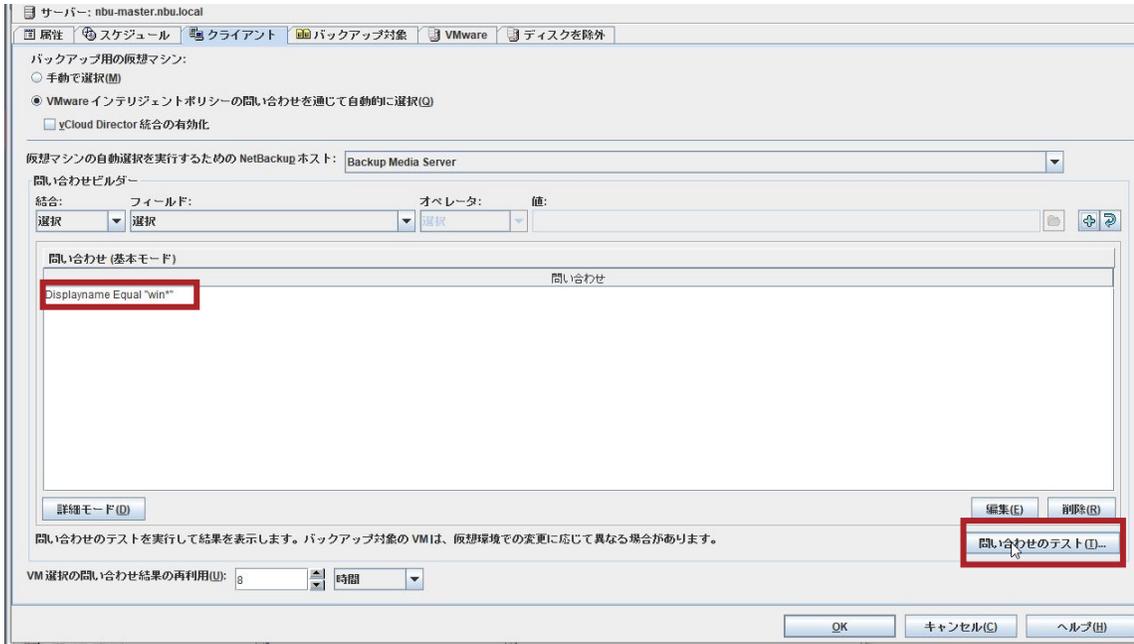


- クライアントの選択をします。
- 今回は動的にバックアップ対象のVMを検出するインテリジェントポリシーを例に進めます。
- 問い合わせビルダーに以下の入力し、[追加]  をクリックします。
 - フィールド : (Displayname)
 - オペレータ : (Equal)
 - 値 : ("win")

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

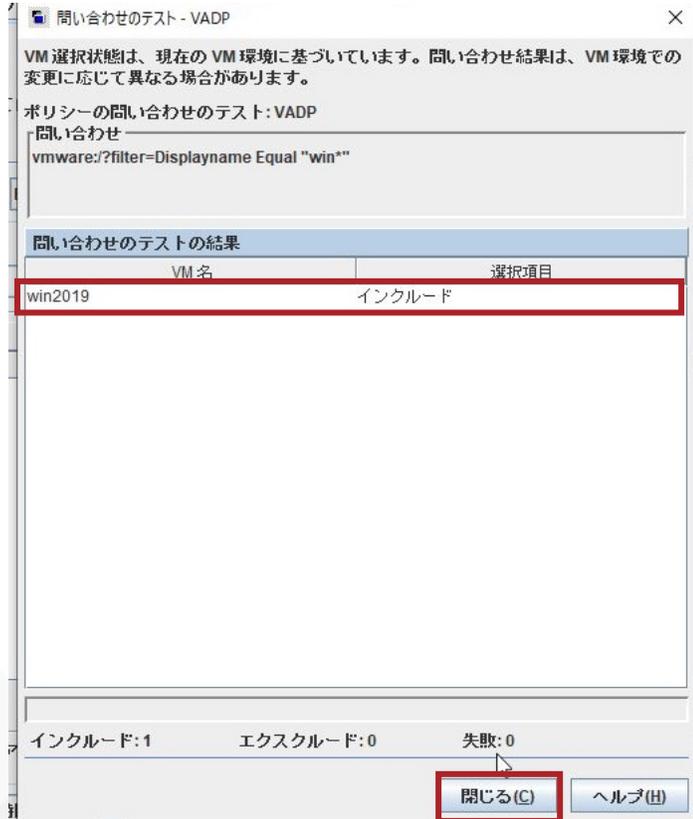


- 問い合わせに追加されたことを確認します。
- [問い合わせのテスト] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

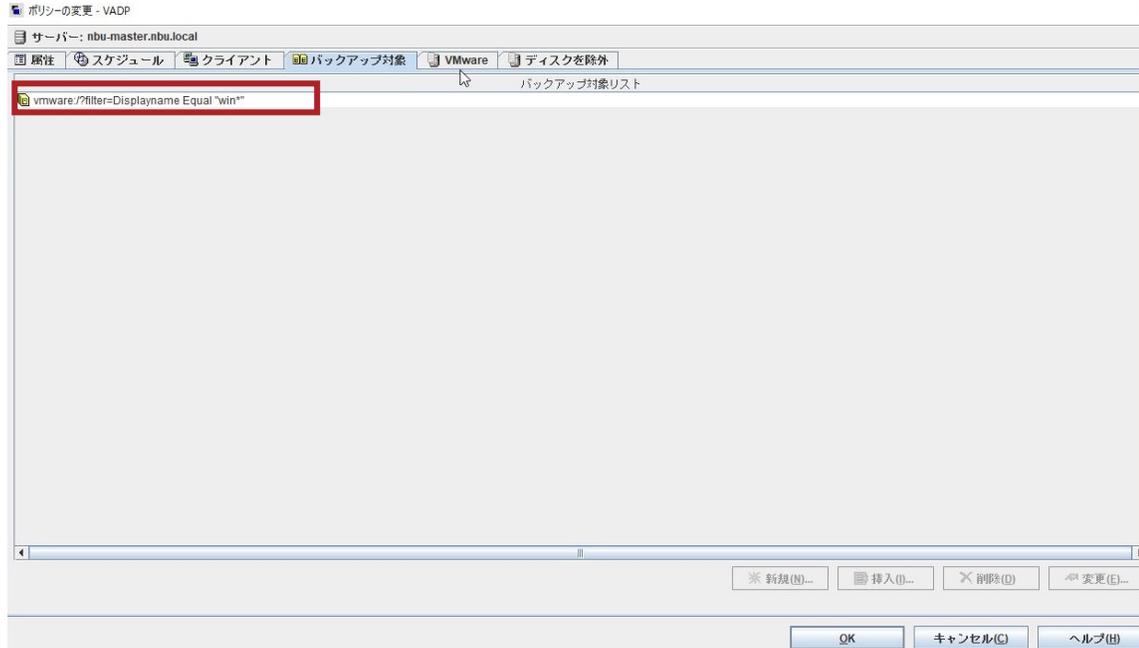


- 正常に仮想マシンが検出できることを確認します。
 - [インクルード]が問い合わせ内容に合致しており、バックアップ対象の仮想マシンとなります。
- [閉じる] をクリックします。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

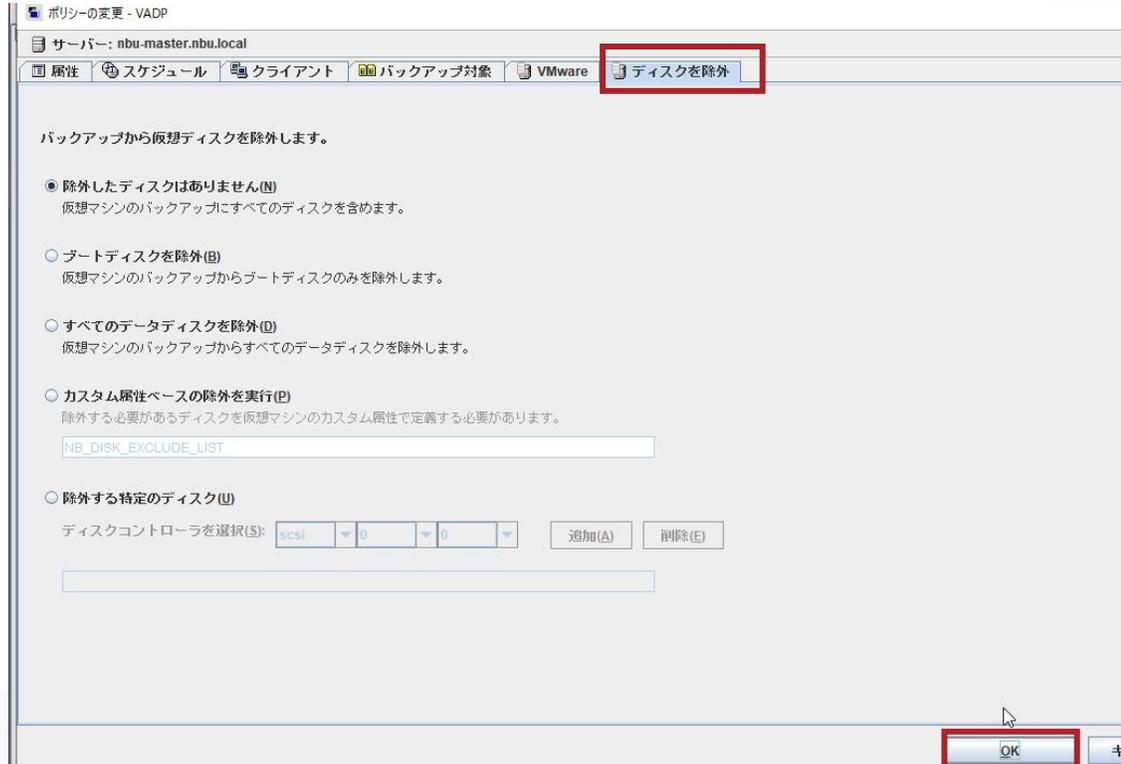


- [バックアップ対象] タブを選択します。
- バックアップ対象を確認します。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

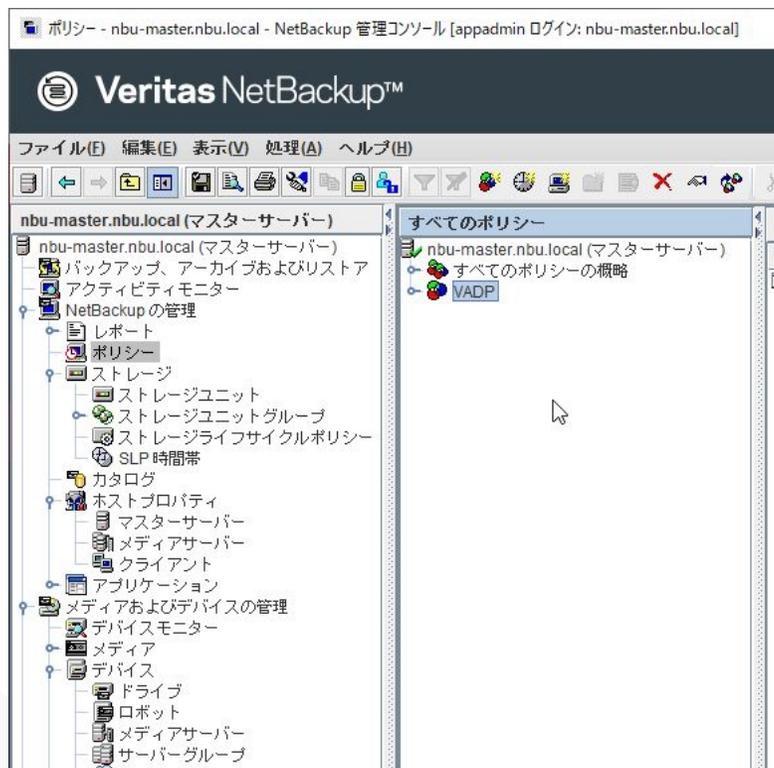


- [ディスクを除外] タブを選択します。
- 今回はデフォルトのまま進みます。
- [OK] をクリックして、ポリシーの作成を終了します。

ポリシーの作成 (Java GUI)

ポリシーの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



- ポリシーが正常に作成されたことを確認します。



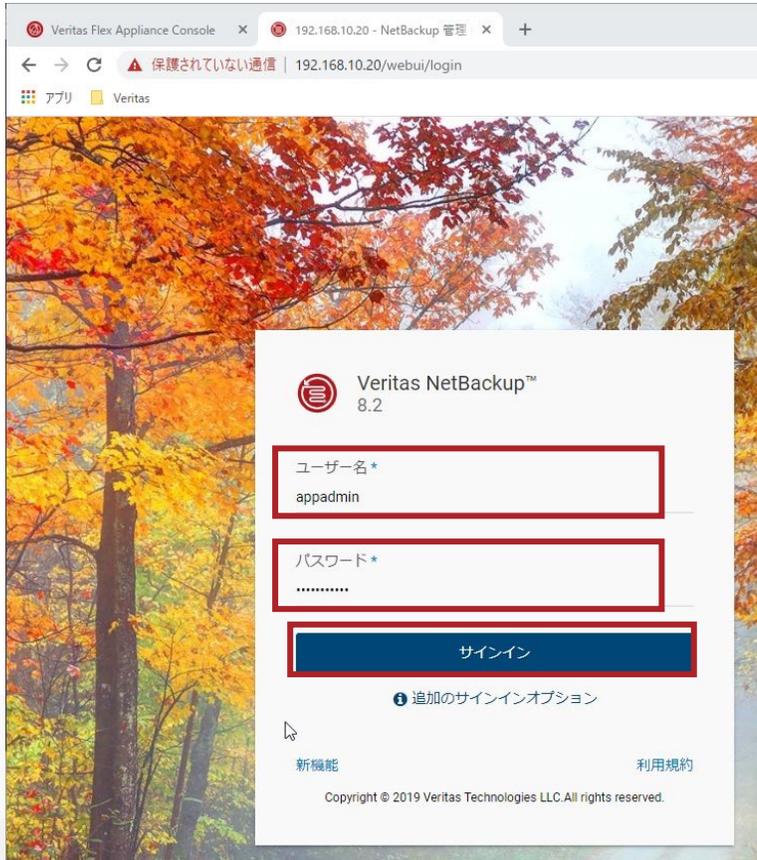
ドキュメントの内容

1	Appendix. ポリシーの作成 (Java Console)
2	Appendix. ポリシーの作成 (WebUI)
3	Appendix. AdvancedDiskの作成
4	Appendix. IPMIの設定

ポリシーの作成 (WebUI)

WebUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



- WebブラウザでマスタサーバのWebUIにアクセスします。
 - `https://<masterserverのホスト名>/webui`
- 以下のログイン情報でサインインします。
 - ユーザー名 : appadmin
 - パスワード : 変更後のパスワード

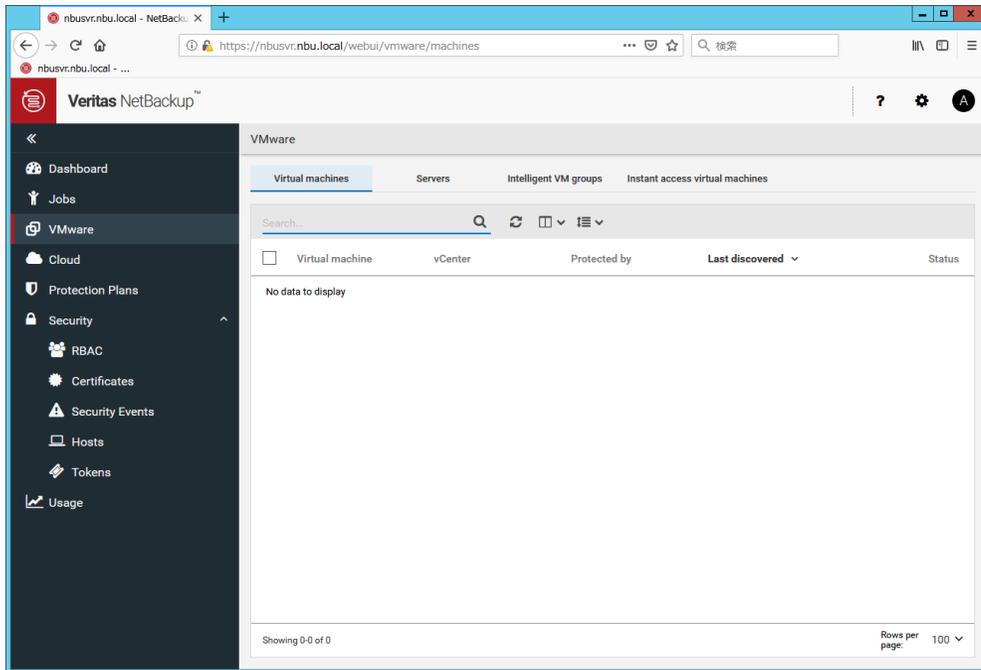
ポリシーの作成 (WebUI)

WebUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

仮想マシンを管理するサーバーにログインするための情報を設定します。

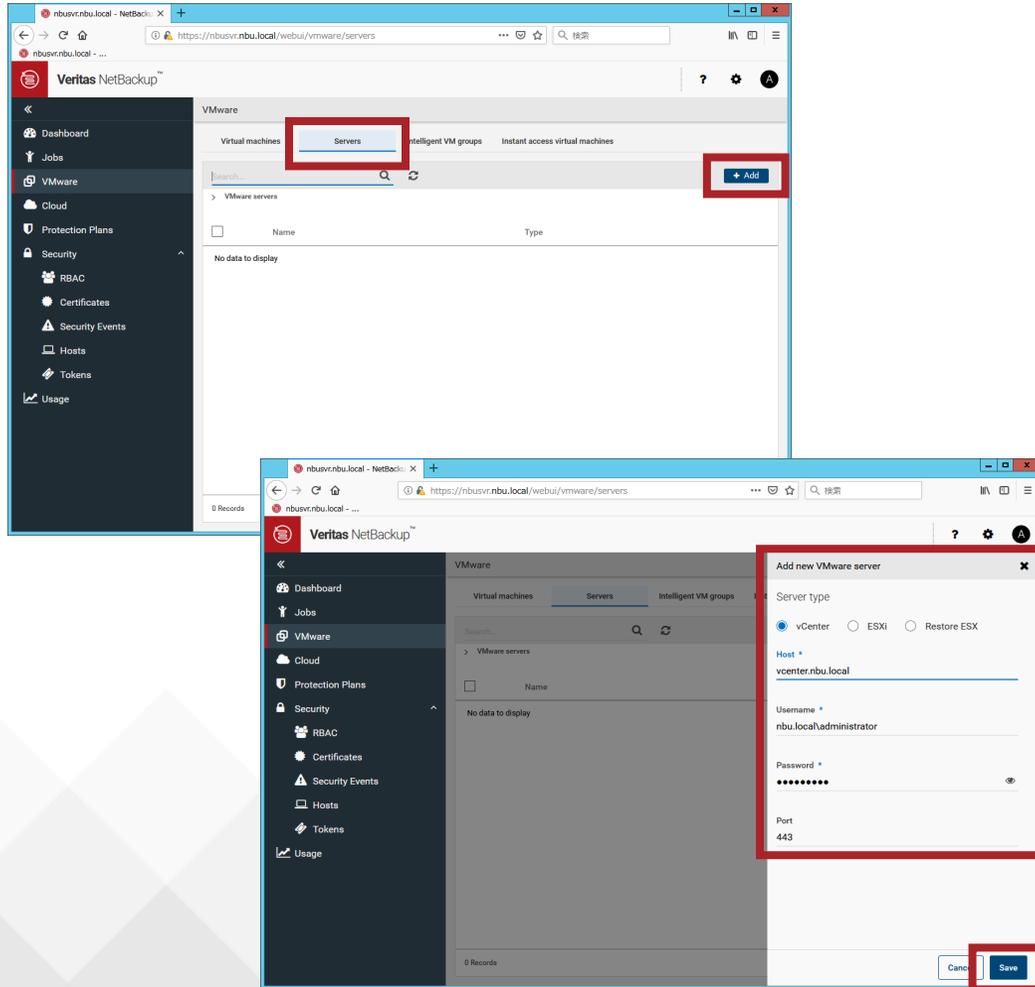
- 左ペインの [VMware] をクリックします。



ポリシーの作成 (WebUI)

WebUIでの事前設定

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

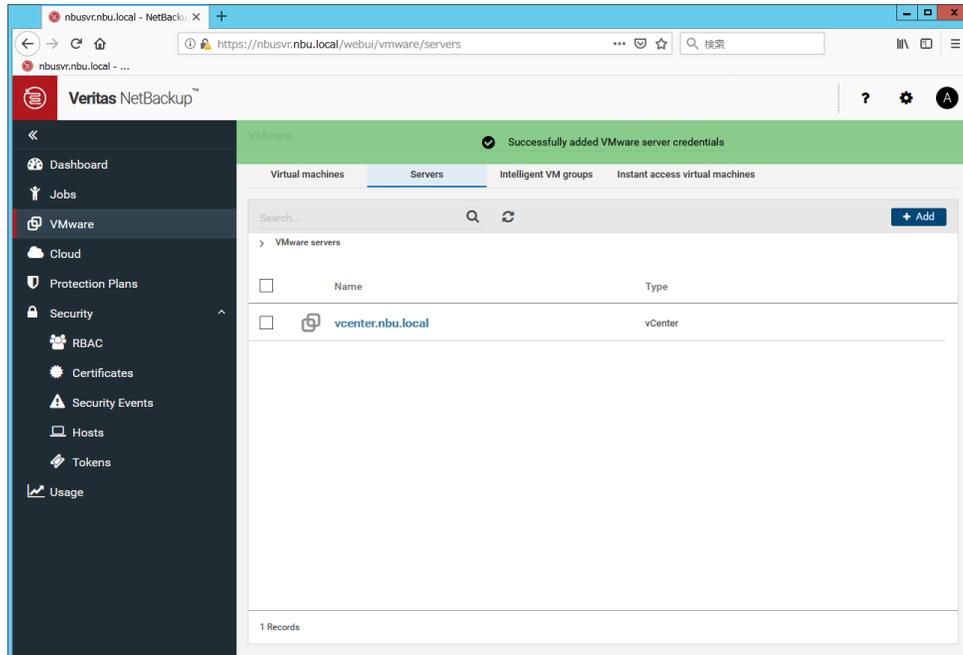


- [Servers] – [Add] をクリックします。

- vCenter サーバーもしくは ESXi サーバーのホスト名/ユーザー名/パスワード/ポート番号を入力します。
- [Save] をクリックします。

ポリシーの作成 (WebUI)

WebUIでの事前設定



VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

クレデンシャルが検証された旨のメッセージが表示されます。

- [OK] をクリックします。

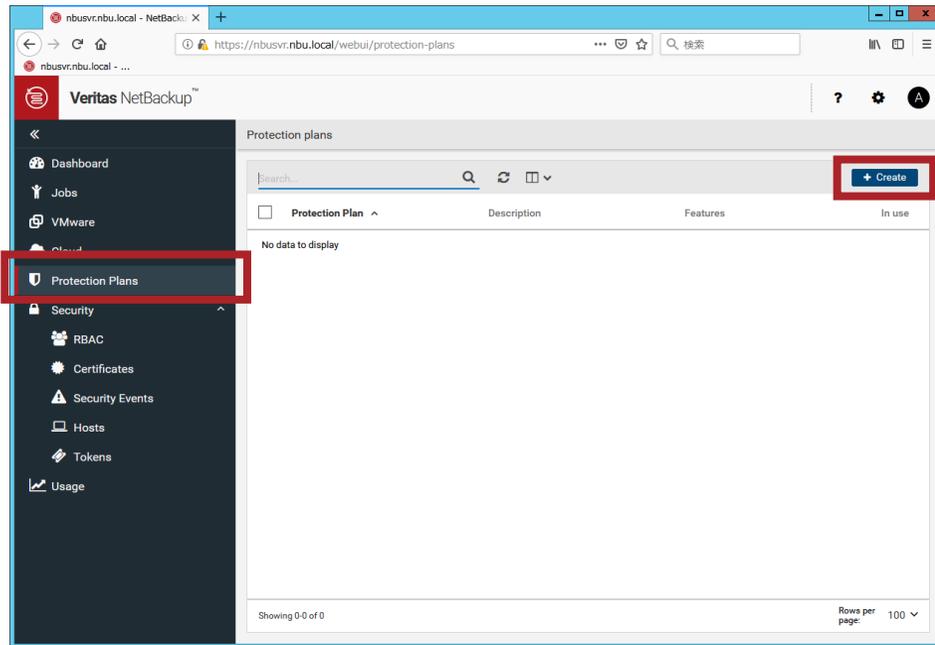
vCenter または ESXi サーバーでの仮想マシンの検出は “VMWARE_AUTODISCOVERY_INTERVAL” オプションに設定された間隔で実行されます (デフォルト8時間)。そのため、追加後にサーバーの仮想マシンがすぐには表示されない可能性があります。

すぐに表示したい場合はバックアップ管理者に NetBackup サービスの再起動を依頼してください。

ポリシーの作成 (WebUI)

Protection Planの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



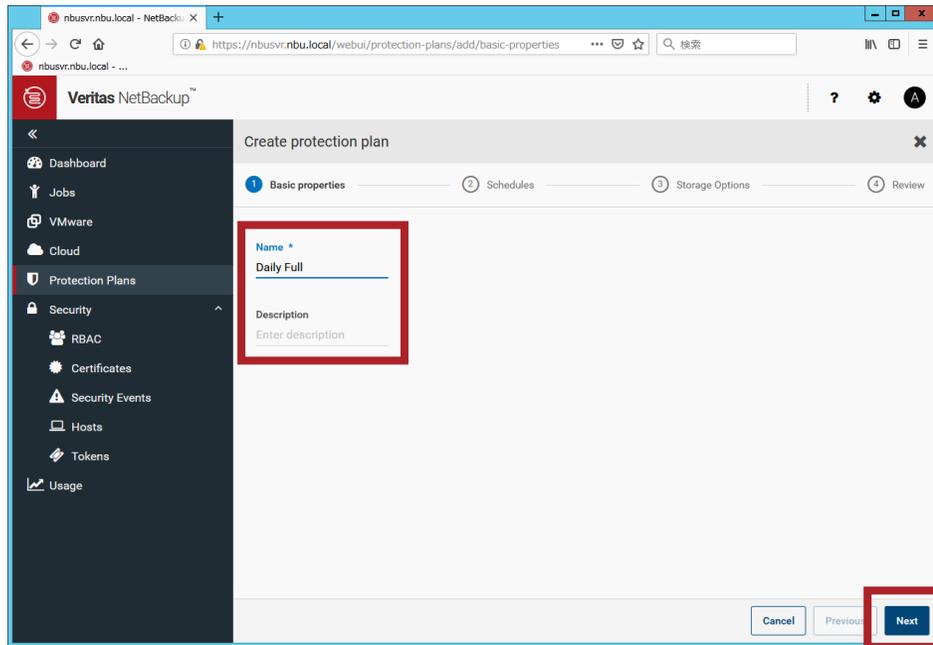
バックアップを実行するタイミング、バックアップの保持期間、使用するストレージ形式を定義するために Protection Plan を作成します。

- 左ペインの [Protection Plans] – [Create] をクリックします。

ポリシーの作成 (WebUI)

Protection Planの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



- 名前 (Name) /説明 (Description) を入力して [Next] をクリックします。

ポリシーの作成 (WebUI)

Protection Planの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

The image displays two screenshots of the Veritas NetBackup WebUI. The top screenshot shows the 'Create protection plan' page, specifically the 'Schedules' step. The 'Schedule Backups' section is highlighted with a red box, showing 'Every 1' and 'Keep for 1' selected. A 'Save' button is also highlighted. The bottom screenshot shows the 'Backup start window' section, which is also highlighted with a red box. It includes a calendar view for selecting the backup start window and a 'Next' button highlighted at the bottom right.

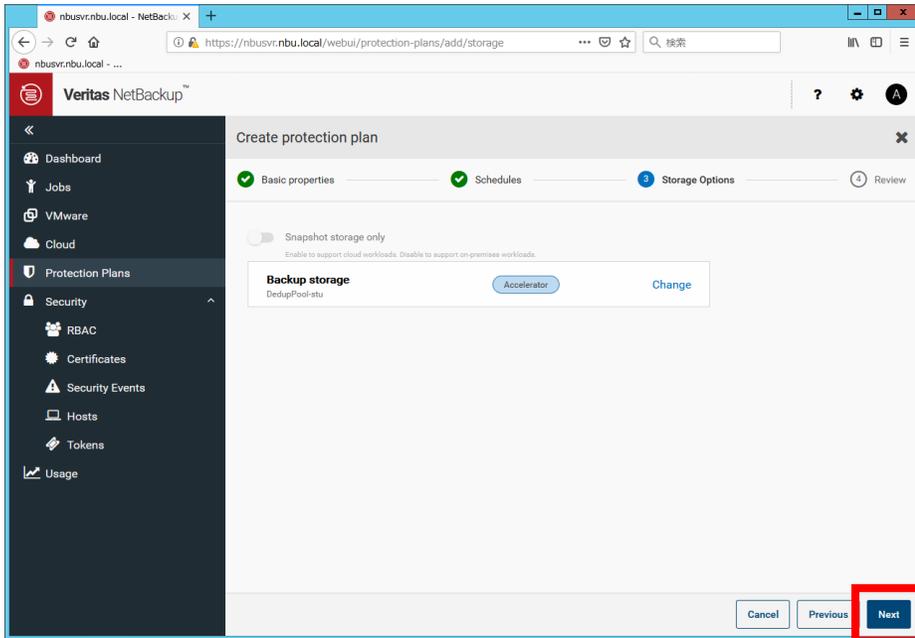
- Schedule Backups でこのスケジュールを実行する頻度とバックアップを保持する期間を選択し [Save] をクリックします。

- Backup start windows でバックアップの開始時間帯を調整します。
- [Next] をクリックします。

ポリシーの作成 (WebUI)

Protection Planの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



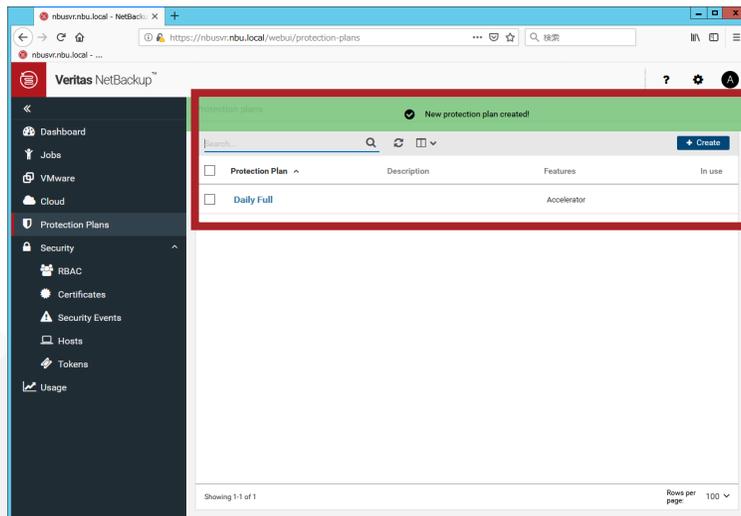
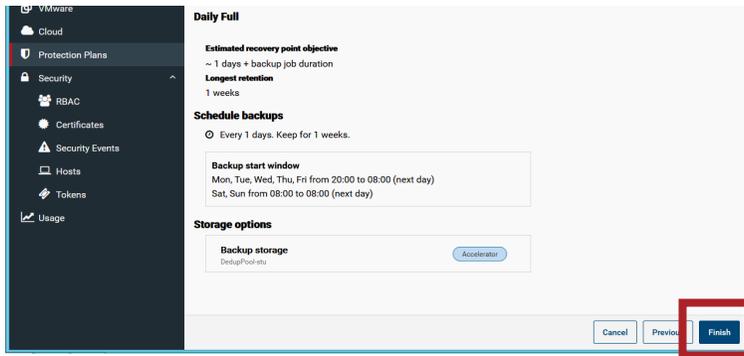
- Backup Storage に作成したストレージユニットが表示されていることを確認し、[Next] をクリックします。

ポリシーの作成 (WebUI)

Protection Planの作成

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

- 設定に問題がなければ [Finish] をクリックします。



Protection Plan が作成されたメッセージと作成した Protection Plan が表示されます。

ポリシーの作成 (WebUI)

仮想マシンのバックアップ

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

検出された仮想マシンを確認します。

- [Virtual machines] タブをクリックします。

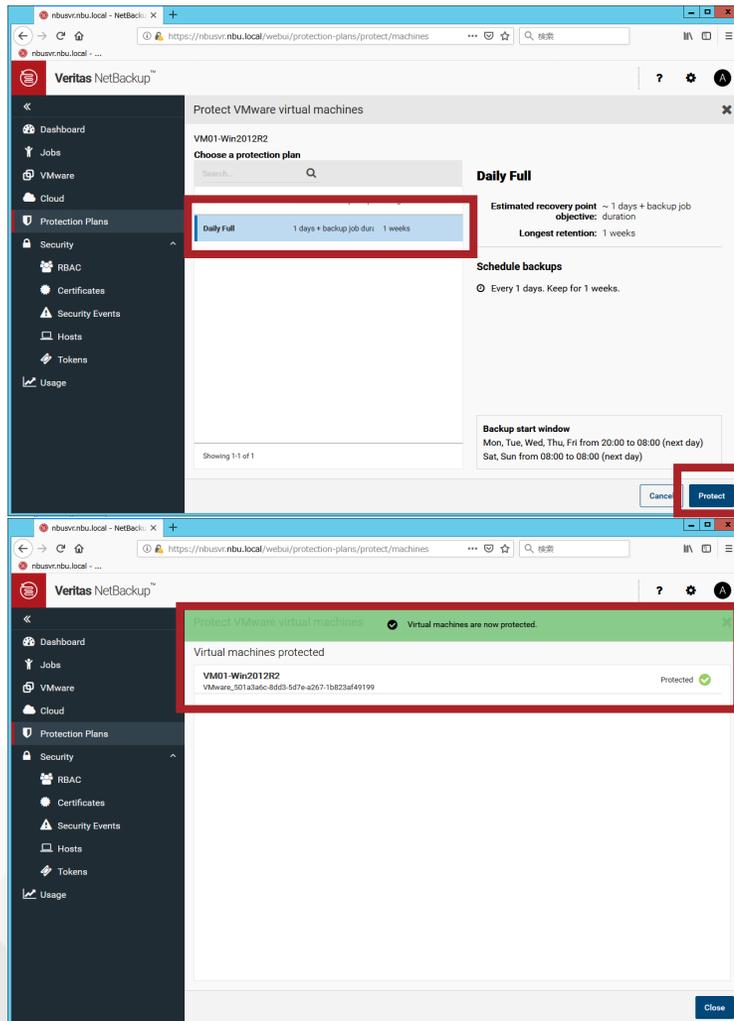
The first screenshot shows the Veritas NetBackup WebUI with the 'Virtual machines' tab selected in the top navigation bar. The main content area displays a table of virtual machines. The second screenshot shows the same interface with the first row of the table selected, and a 'Configure protection' button highlighted in the top right corner of the table area.

Virtual machine	vCenter	Protected by	Last discovered	Status
VM01-Win2012R2 VMware_501a3a6c-8dd3-5...	vcenter.nbu.local	Not protected	December 21, 2018 11:24	
VM02-RHEL-Sample VMware_501a3631-75bd-c...	vcenter.nbu.local	Not protected	December 21, 2018 11:24	
VM03-SUSE-Sample VMware_501a0af4-1cff-99...	vcenter.nbu.local	Not protected	December 21, 2018 11:24	

- バックアップしたい仮想マシンを選択し [Configure protection] をクリックします。

ポリシーの作成 (WebUI)

仮想マシンのバックアップ



VMwareの保護を例に手順をご案内しています。

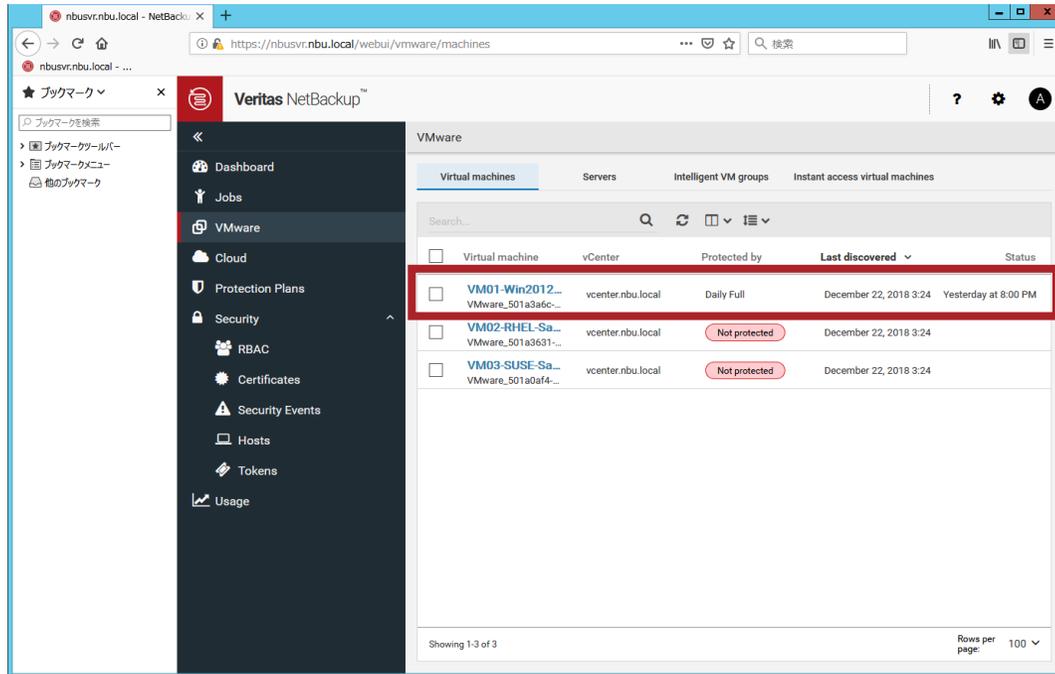
- Protection Plan を選択し、[Protect] をクリックします。

仮想マシンの保護が作成したメッセージと作成した仮想マシンが表示されます。

ポリシーの作成 (WebUI)

仮想マシンのバックアップ

VMwareの保護を例に手順をご案内しています。



スケジュールによるバックアップ完了後、Status に実施された日時が表示されます。

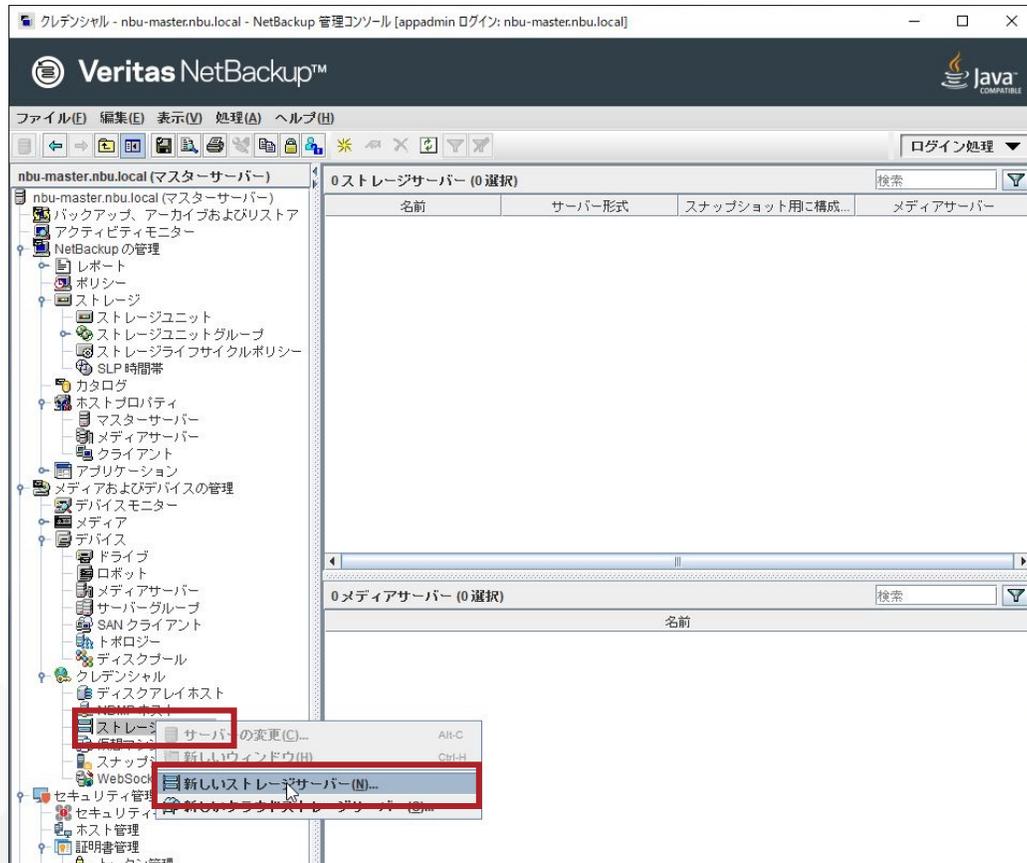


ドキュメントの内容

1	Appendix. ポリシーの作成 (Java Console)
2	Appendix. ポリシーの作成 (WebUI)
3	Appendix. AdvancedDiskの作成
4	Appendix. IPMIの設定

AdvancedDiskの作成

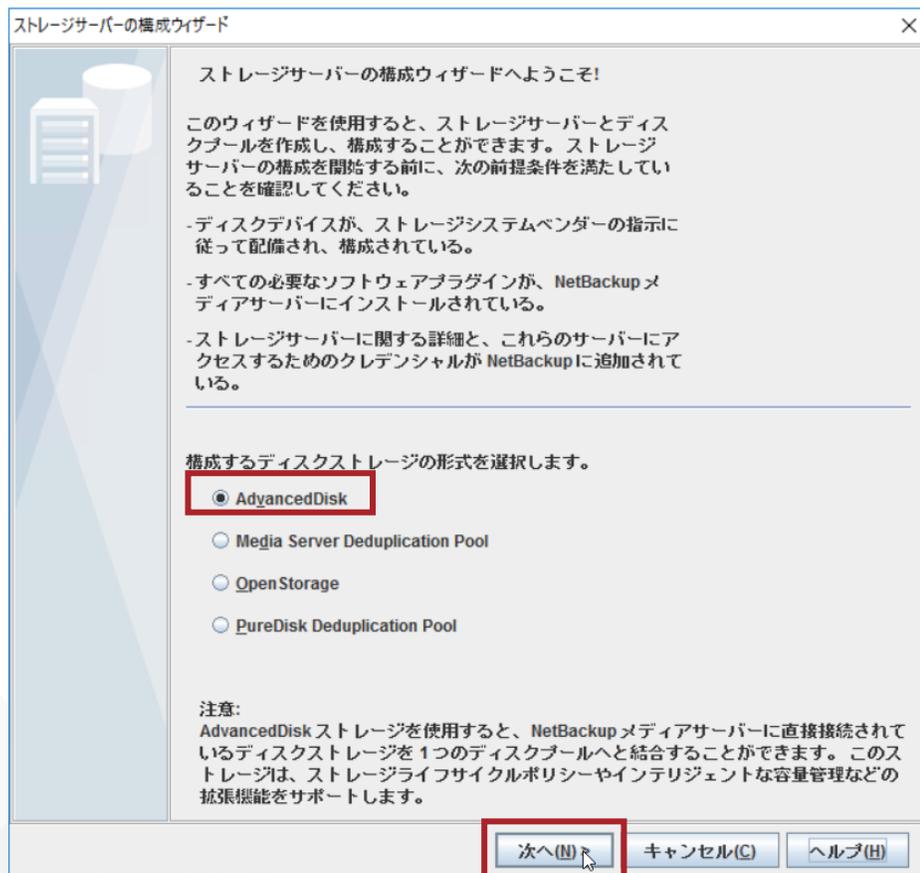
ストレージサーバの作成



- [メディアおよびデバイスの管理] > [クレデンシャル] > [ストレージサーバ]を選択します。
- [ストレージサーバ]を右クリックし、[新しいストレージサーバ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード



- [AdvancedDisk]を選択します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード

ストレージサーバの構成ウィザード

ストレージサーバの追加
ストレージサーバの詳細を指定します。

下で選択されたメディアサーバは NetBackup のデバイスデータベースで AdvancedDisk ストレージをホストするメディアサーバとしてマークされます。

メディアサーバ (M):

ストレージサーバ形式 (I):

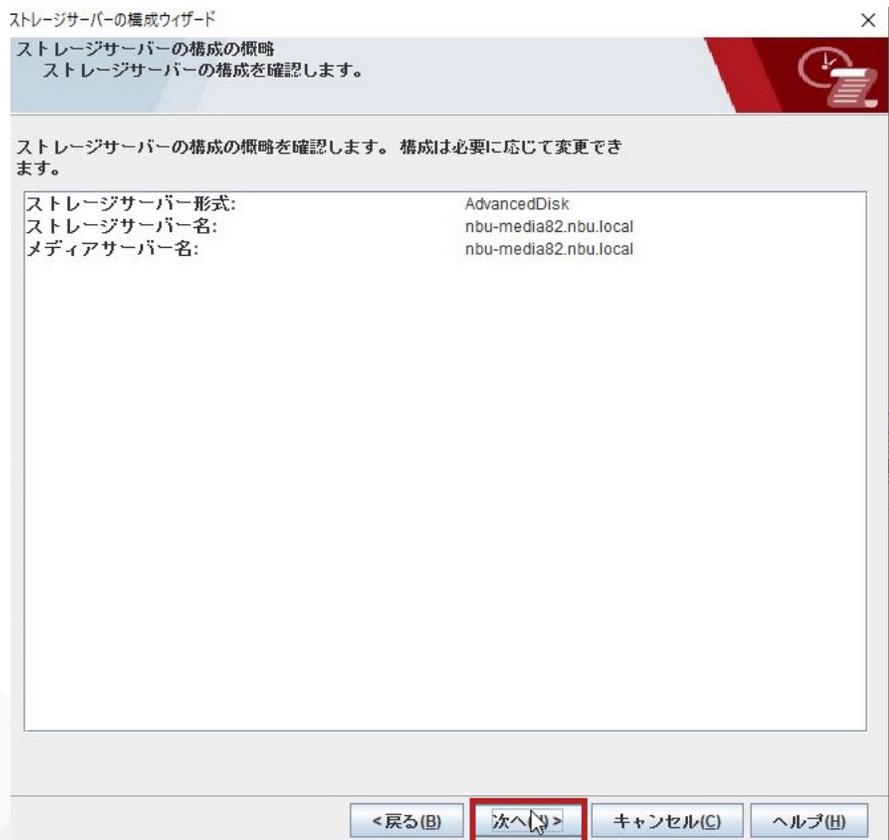
ストレージサーバ名 (S):

<戻る (B) **次へ (N) >** キャンセル (C) ヘルプ (H)

- メディアサーバの名前を確認します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

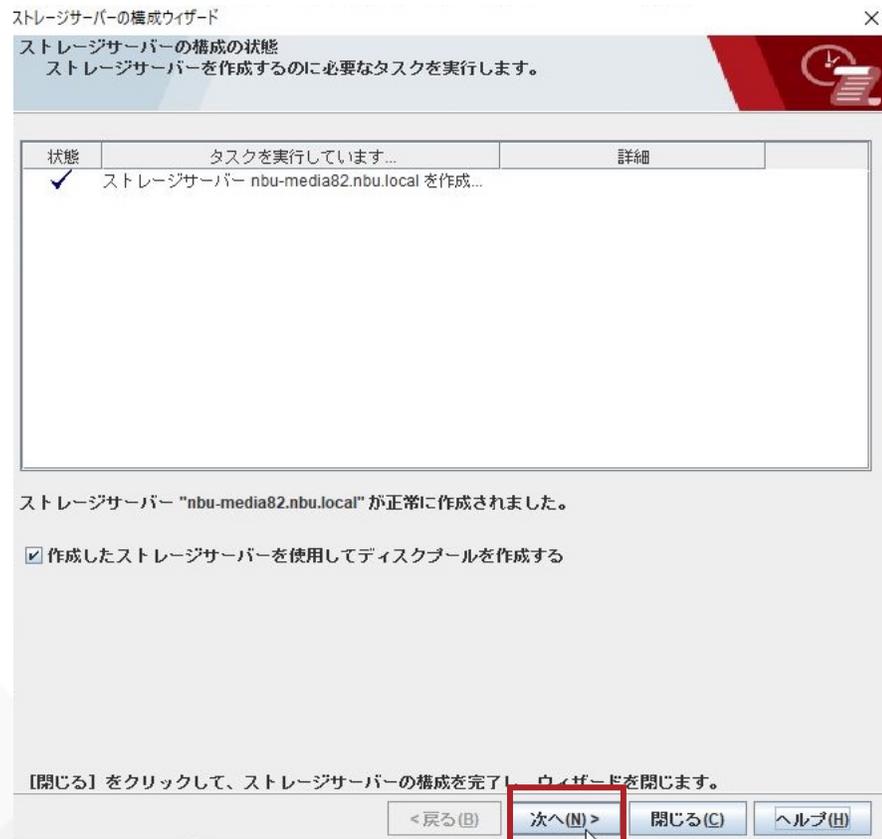
ストレージサーバの構成ウィザード



- 構成の概略を確認します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード



- 正常に作成されたことを確認します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード

ストレージサーバの構成ウィザード

ポリュームの選択
ディスクプールで使用するポリュームを選択してください。

ストレージサーバ形式: AdvancedDisk
ディスクプールに追加するストレージサーバポリュームを選択します。

ポリューム名	利用可能な領域	最大物理容量	レプリケーション
<input type="checkbox"/> /	9.97 GB	10.0 GB	なし
<input type="checkbox"/> /dev	7.71 GB	7.71 GB	なし
<input type="checkbox"/> /dev/hugepages	0.0 バイト	0.0 バイト	なし
<input type="checkbox"/> /dev/mqueue	0.0 バイト	0.0 バイト	なし
<input type="checkbox"/> /dev/shm	64.0 MB	64.0 MB	なし
<input checked="" type="checkbox"/> /mnt/advanceddiskw...	1005.73 MB	1.0 GB	なし
<input type="checkbox"/> /mnt/msdp/vol0	49.93 GB	50.0 GB	なし
<input type="checkbox"/> /mnt/nbdata	970.17 MB	975.9 MB	なし
<input type="checkbox"/> /mnt/nblogs	4.97 GB	5.0 GB	なし
<input type="checkbox"/> /opt/veritas/vxapp-ma...	99.83 GB	109.95 GB	なし
<input type="checkbox"/> /proc/acpi	7.71 GB	7.71 GB	なし

選択したストレージサーバに新しいポリュームを追加する [新しいポリュームの追加\(A\)](#)

ディスクプールサイズ
合計 利用可能な領域: 1005.73 MB
合計 最大物理容量: 1024.00 MB

① ポリュームを選択する前に、そのポリュームがストレージサーバ間で共有されていることを検証する必要があります。

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C) ヘルプ(H)

- 以下のポリュームを指定します。
 - /mnt/advanceddisk/vol0
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード

ストレージサーバの構成ウィザード

ディスクプールの追加情報
追加のディスクプールの情報を指定します。

ストレージサーバ形式: AdvancedDisk

ディスクプールサイズ
合計 利用可能な領域: 1005.73 MB
合計 最大物理容量: 1024.00 MB

ディスクプール名:

コメント:

高水準点(W): %
低水準点(L): %

最大 I/O ストリーム数

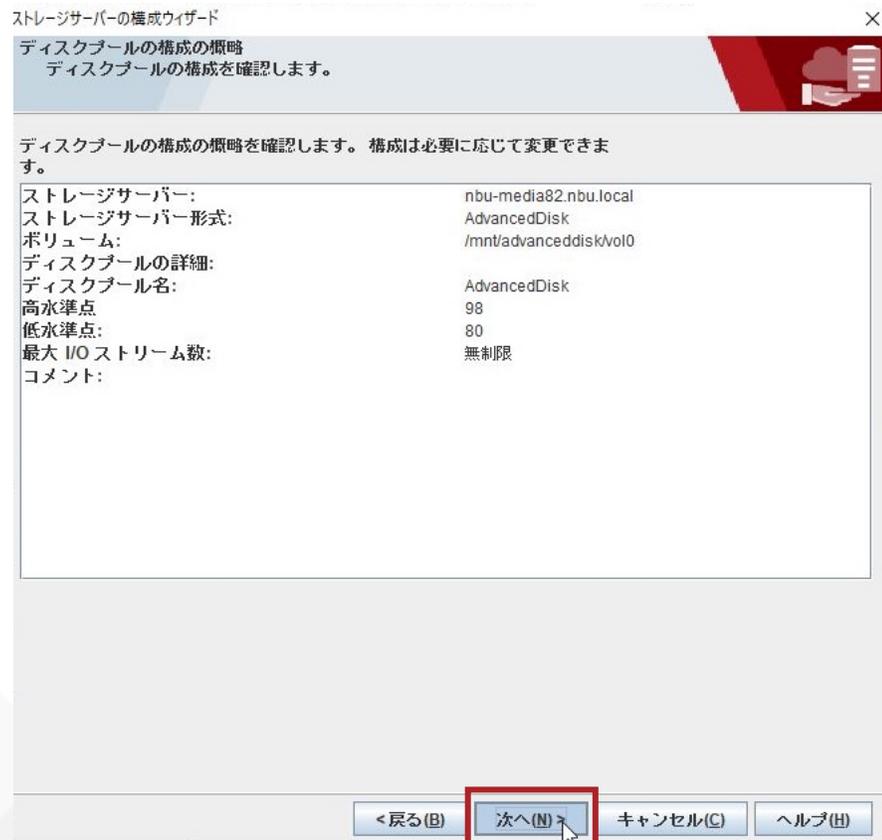
i 並列読み込みおよび書き込みジョブはディスクパフォーマンスに影響を与えます。
ディスクの過大な負荷を防止するには、I/O ストリーム数を制限します。

I/O ストリーム数を制限: ボリュームごと

- [ディスクプール名]を入力します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

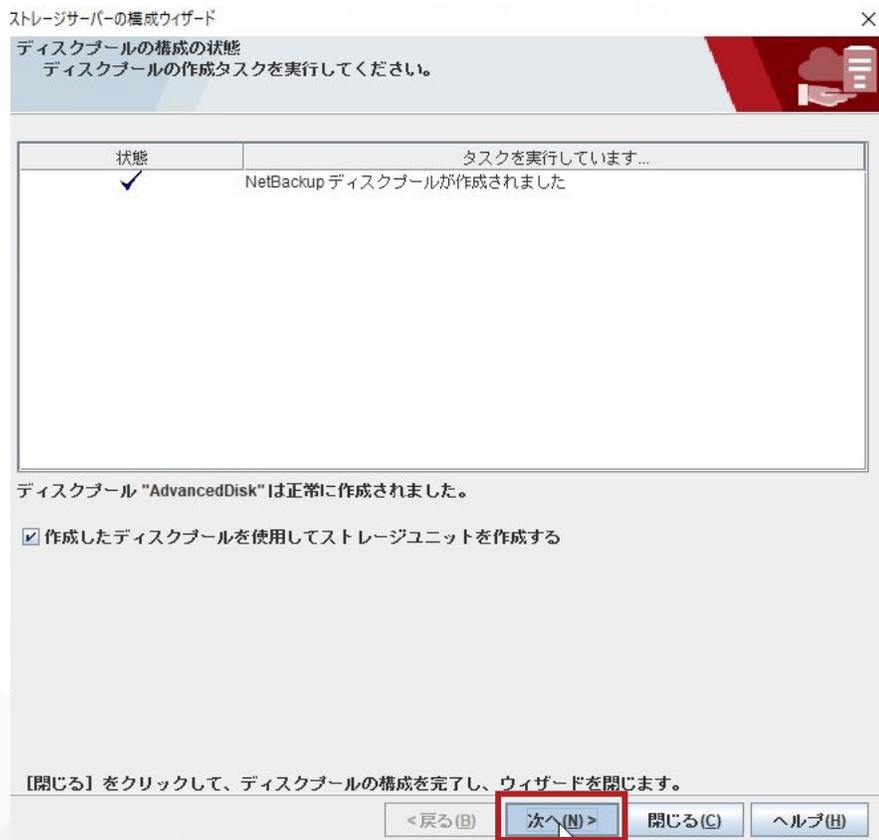
ストレージサーバの構成ウィザード



- 構成の概略を確認します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード



- 正しく作成されたことを確認します。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージサーバの構成ウィザード

ストレージサーバの構成ウィザード

ストレージユニットの作成
ストレージユニットを作成するには、詳細を入力してください。

ディスクプール: AdvancedDisk
ストレージサーバ形式: AdvancedDisk
ストレージユニット名: AdvancedDisk-stu

メディアサーバ

データのトランスポートに利用可能な任意のメディアサーバを使用する(U)
 選択したメディアサーバのみ使用する(O):

メディアサーバ

nbu-media82.nbu.local

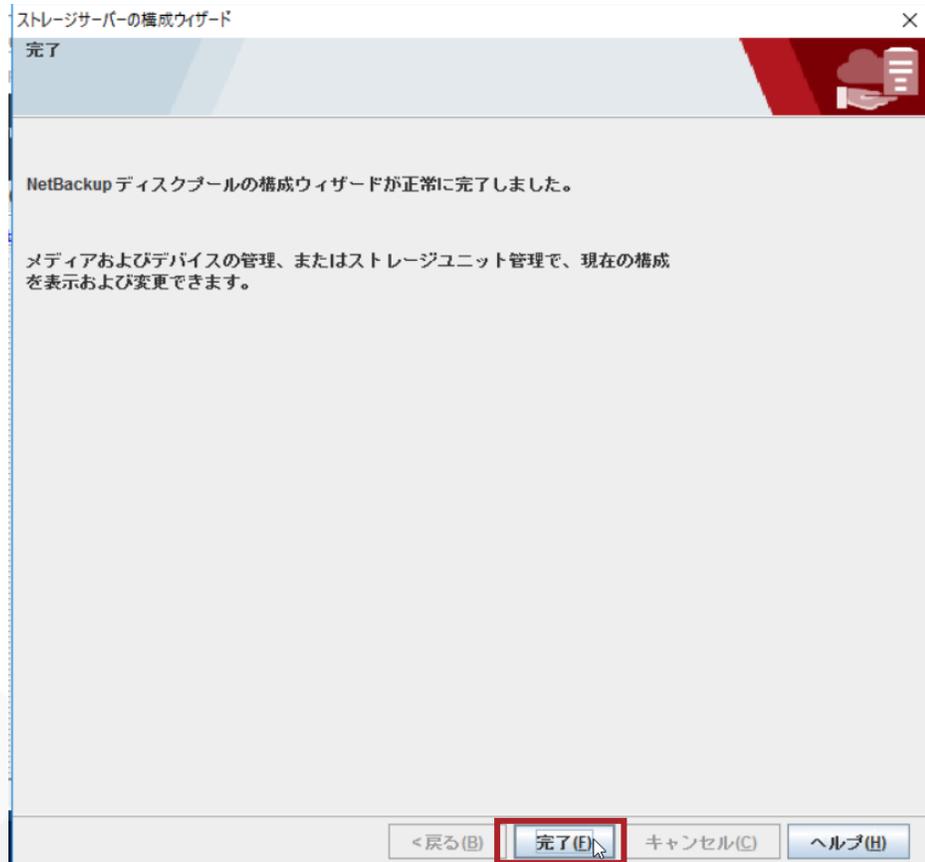
最大並列実行ジョブ数(X): 1
最大フラグメントサイズ: 524288 MB

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C) ヘルプ(H)

- [ストレージユニット名]を入力します。
 - デフォルトでよろしければそのまま進みます。
- 必要に応じて、メディアサーバの選択をします。
- [次へ]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

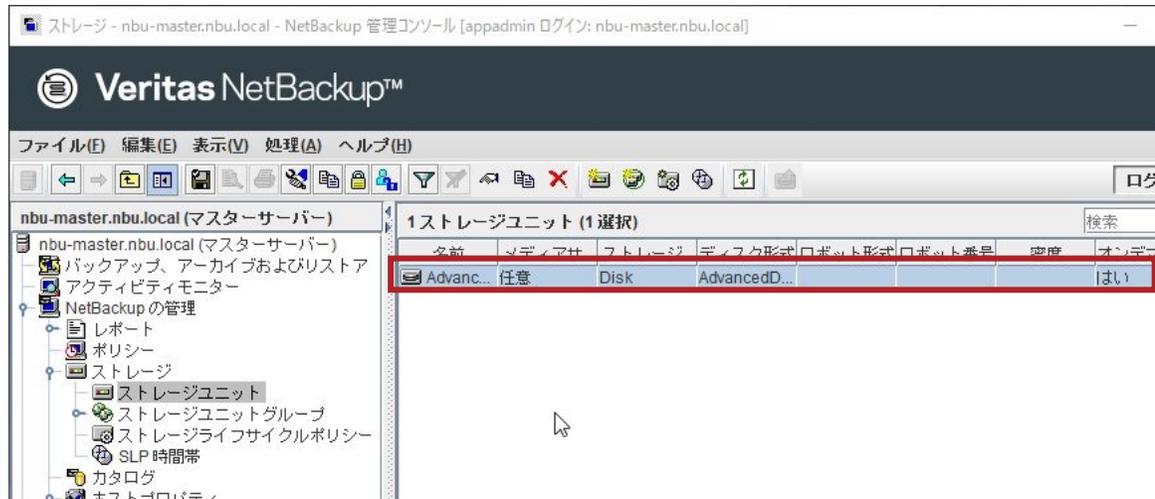
ストレージサーバの構成ウィザード



- 正常に作成されたことを確認します。
- [完了]をクリックします。

AdvancedDiskの作成

ストレージユニットの確認



- [NetBackupの管理] > [ストレージ] > [ストレージユニット] を選択します。
- 作成したAdvancedDiskのストレージユニットを確認します。



ドキュメントの内容

1	Appendix. ポリシーの作成 (Java Console)
2	Appendix. ポリシーの作成 (WebUI)
3	Appendix. AdvancedDiskの作成
4	Appendix. IPMIの設定

IPMIの設定

BIOSでの設定

```
System is booting from BIOS Primary Area!  
BMC Firmware Version: 1.90.0CF6E935  
SDR Version: SDR Package 1.90  
ME Firmware Version: 04.00.04.393  
Platform ID: S2600WF  
System memory detected: 65536 MB  
Current memory speed: 2133 MT/s  
Intel(R) Xeon(R) Bronze 3106 CPU @ 1.70GHz  
Number of physical processors identified: 1  
AHCI Capable Controller 1 enabling 8 ports of 6Gb/s SATA  
AHCI Capable Controller 2 enabling 6 ports of 6Gb/s SATA
```

```
USB Keyboard detected  
USB Mouse detected
```

```
BMC BaseBoard IP Address 1 : 0.0.0.0  
BMC BaseBoard IP Address 2 : 0.0.0.0  
BMC Dedicated NIC IP Address : 10.193.25.25
```

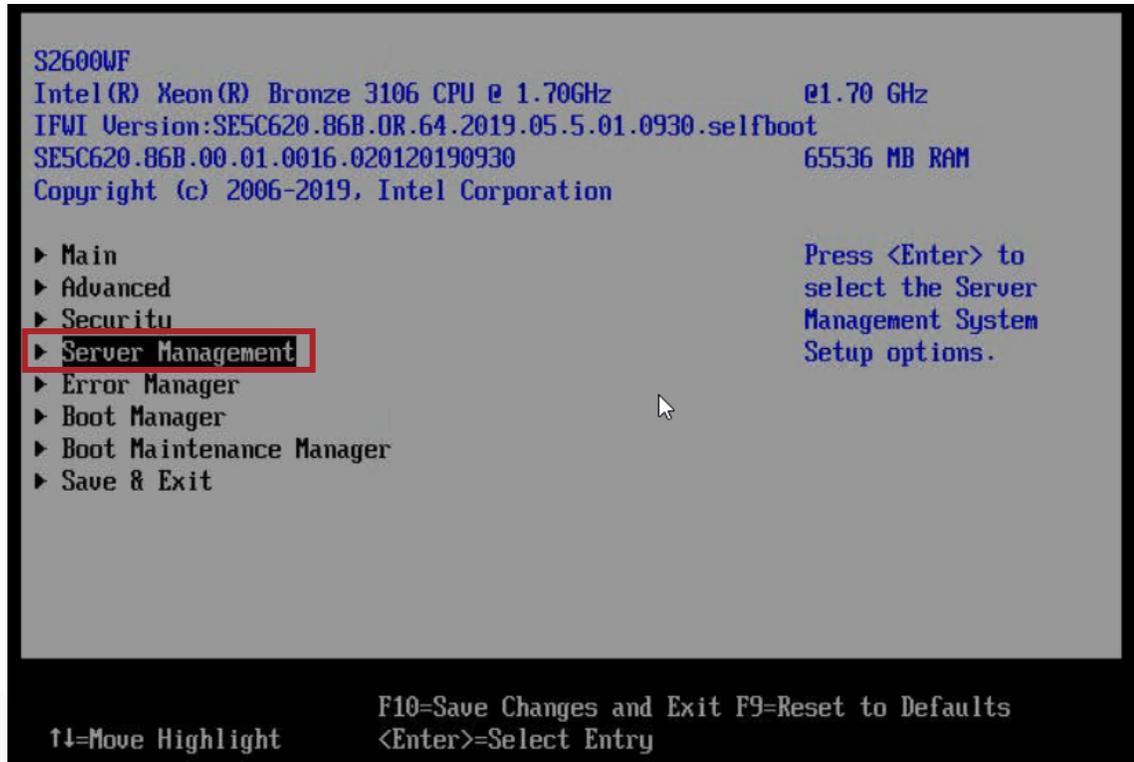
```
Press [Enter] to directly boot.  
Press [F2]   to enter setup and select boot options.  
Press [F6]   to show boot menu options.  
Press [F12]  to boot from network.
```

```
-  
Start boot option.....5
```

- Boot時にF2キーを押し、BIOSに入ります。

IPMIの設定

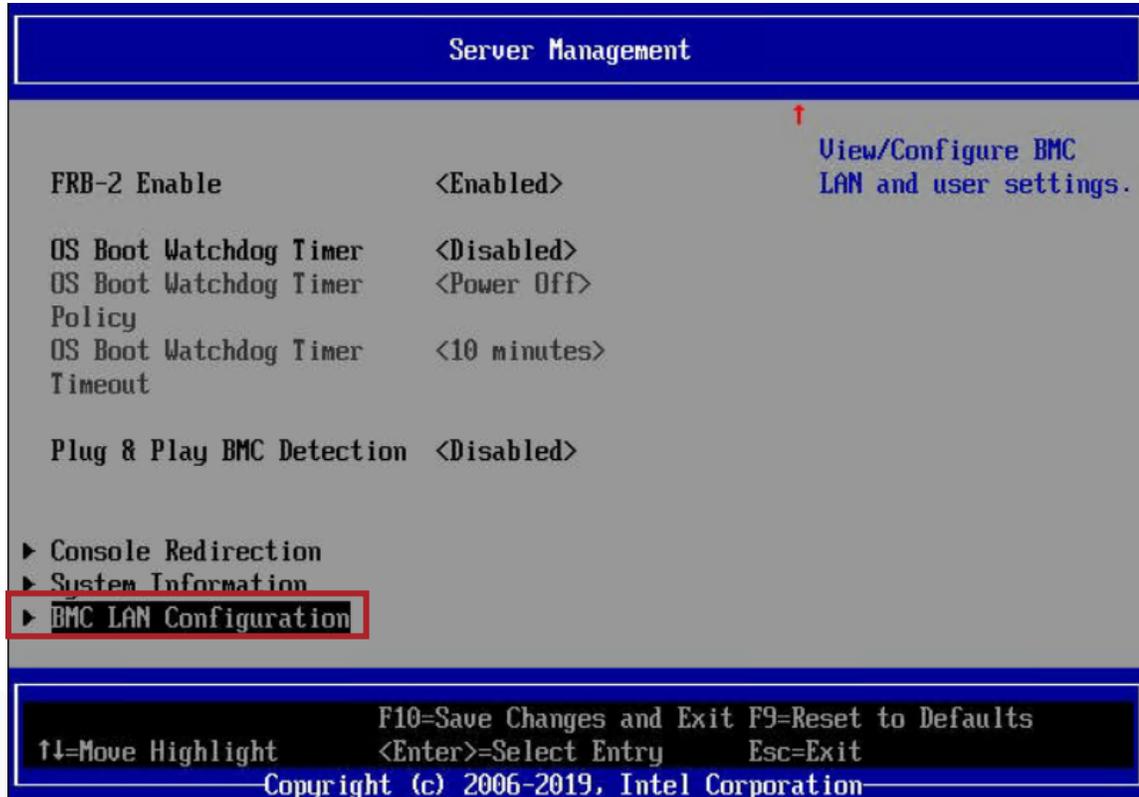
BIOSでの設定



- [Server Management]を選択します。

IPMIの設定

BIOSでの設定



- [BMC LAN Configuration]を選択します。

IPMIの設定

BIOSでの設定

BMC LAN Configuration

Subnet Mask 0.0.0.0 View/Edit IP Address.
Gateway IP 0.0.0.0 Press <Enter> to edit.

Baseboard LAN IPv6 configuration
IPv6 <Disabled>

Dedicated Management LAN Configuration

Remote Management Module <Present>
IP Source <Static>
IP Address **192.168.0.20**
Subnet Mask 255.255.255.0
Gateway IP 0.0.0.0

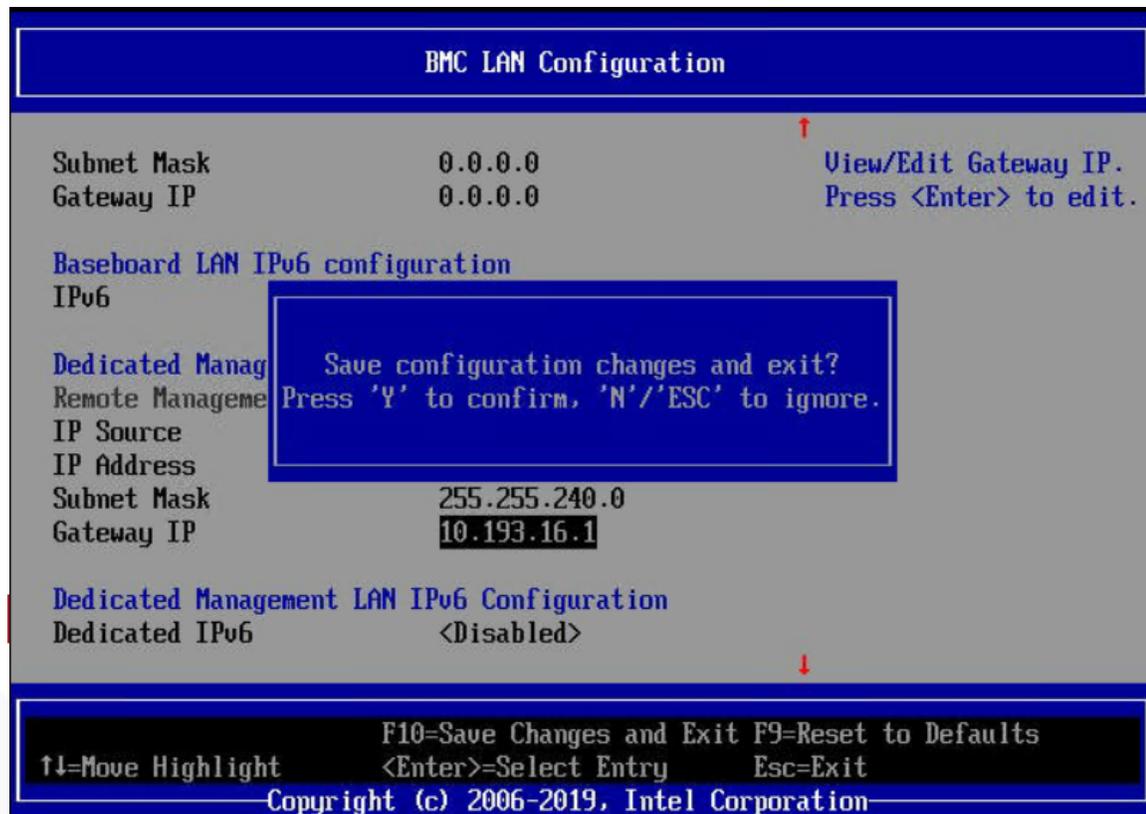
Dedicated Management LAN IPv6 Configuration
Dedicated IPv6 <Disabled>

F10=Save Changes and Exit F9=Reset to Defaults
↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit
Copyright (c) 2006-2019, Intel Corporation
Configuration changed

- [Dedicated Management LAN Configuration]にてパラメータの設定をします。
 - IP Source :
 - IP Address :
 - Subnet Mask :
 - Gateway IP :

IPMIの設定

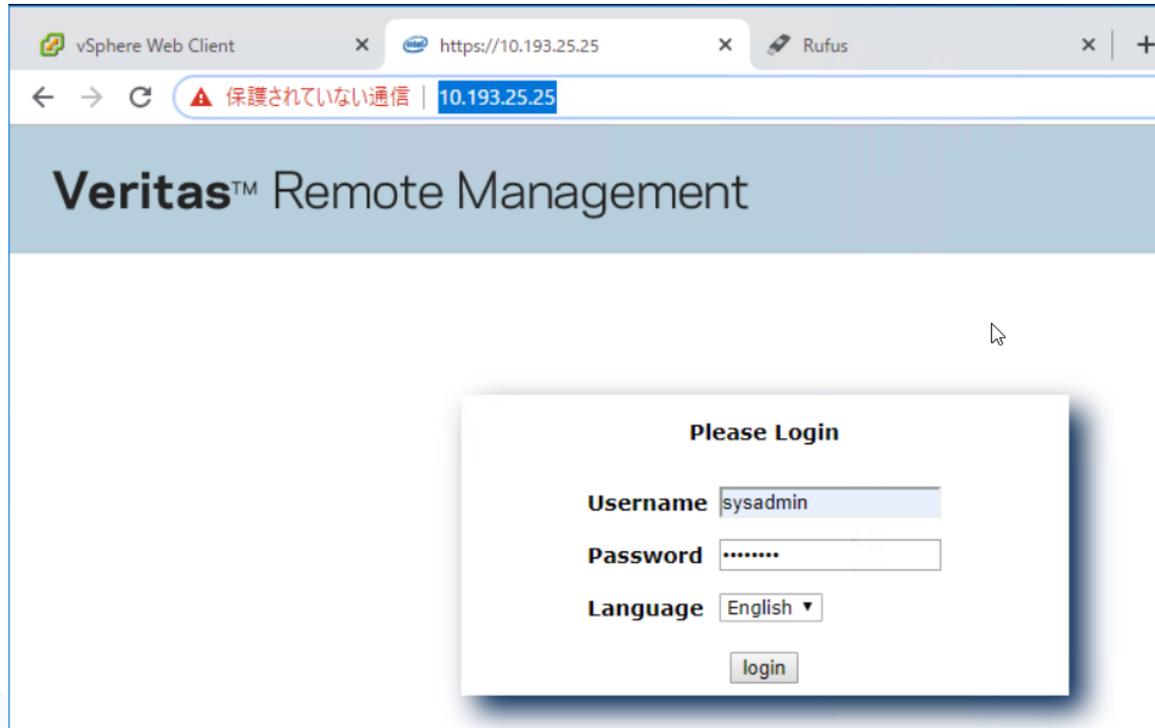
BIOSでの設定



- [F10]→[Y]を押し、BIOSでの設定を終了します。

IPMIの設定

WEBブラウザからアクセス



- Webブラウザから設定したアドレスにアクセスします。
- ログインします。
 - Username : sysadmin
 - Password : P@ssw0rd

IPMIの設定

WEBブラウザからアクセス

The screenshot displays the Veritas Remote Management web interface. The top navigation bar includes tabs for System, Server Health, Configuration, Remote Control, Virtual Media, Server Diagnostics, Miscellaneous, BIOS Configuration, and Refresh. The main content area shows the 'Summary' page with the following information:

- Host Power Status : **Host is currently ON**
- Remote Management Module key : Installed
- Device (BMC) Available : Yes
- BMC Firmware Build Time : Fri Jan 25 04:01:18 2019
- BIOS ID : SE5C620.86B.00.01.0016.020120190930
- BMC FW Rev : 1.90.0cf6e935
- Backup BMC FW Rev : 1.43.660a4315
- Build ID : 0CF6E935
- SDR Package Version : 1.90
- Mgmt Engine (ME) FW Rev : 04.00.04.393
- Baseboard Serial Number : BQWF72800399
- Overall System Health :

Below the summary, there is a 'Web Session Timeout' section with a dropdown menu set to '30 Min(s)'.

Copyright © 2016-2017 - Intel Corporation. All Rights Reserved. Portions Copyright © 2016-2017 - Insyde Software Corp.

- 正常にログインできることを確認します。

ありがとうございました!

ベリタステクノロジーズ合同会社

Copyright © 2020 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.